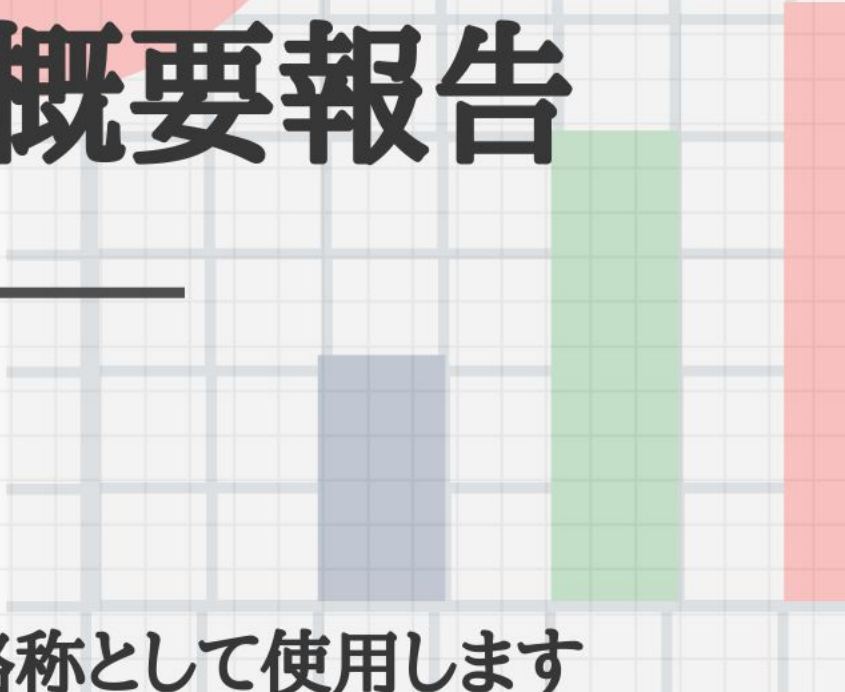




アロマンティック／アセクシュアル・ スペクトラム調査2022 概要報告

Aro/Ace

→アロマンティック／アセクシュアル・スペクトラムの略称として使用します



目次

- **調査の概要**
- **標本の構成**
- **調査結果の概要報告（速報値）**
- **まとめ**
- **みなさんにお伝えしたいこと**



調査の概要



調査主体について



As Loop
アズ ループ

沿革

2018年 5月 5日 「アセクシュアル啓発委員会」の発足

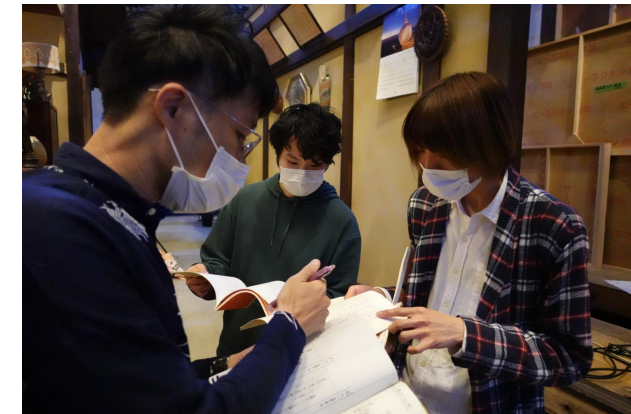
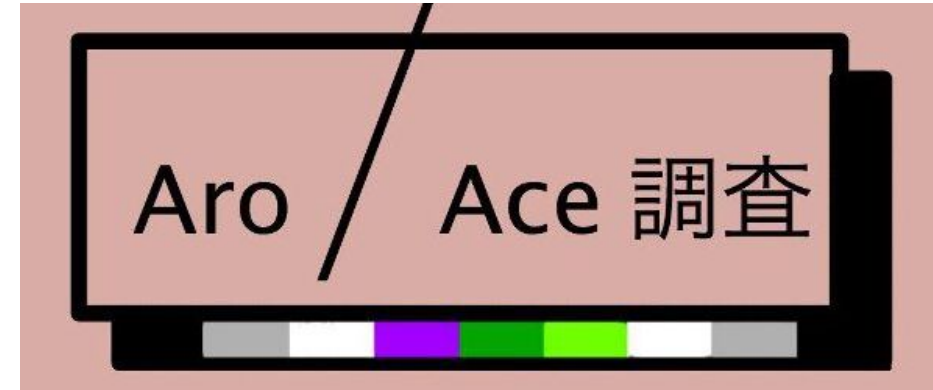
2018年11月28日 「Aro/Ace調査実行委員会」の発足

2021年12月 1日 「アセクシュアル啓発委員会」と

「Aro/Ace調査実行委員会」の統合

2021年12月 1日 団体設立

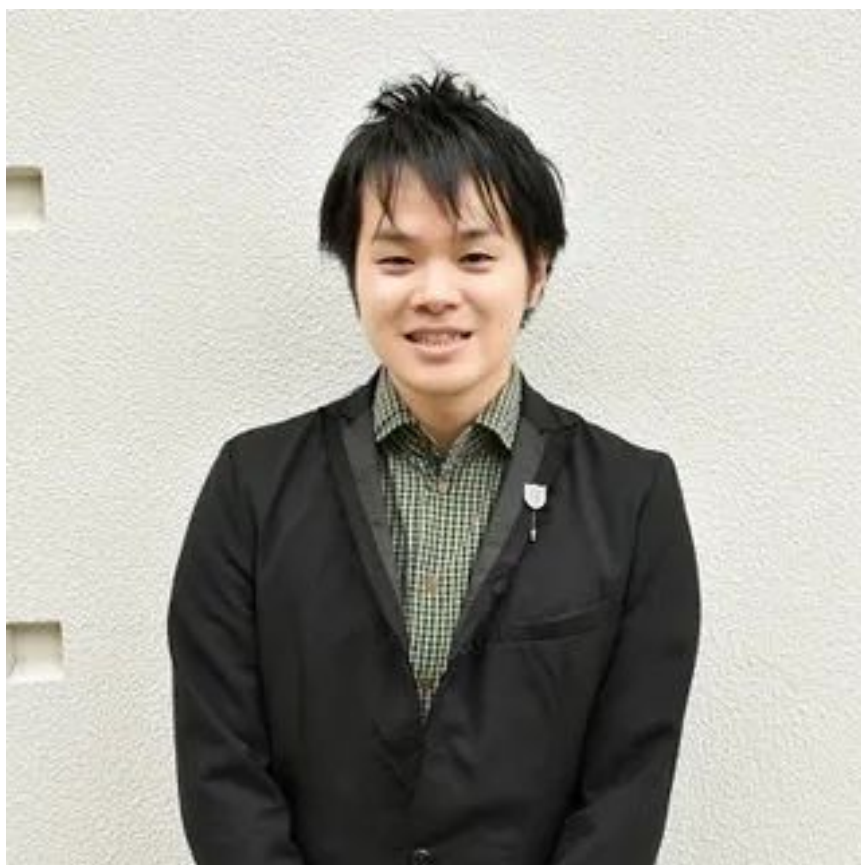
活動内容



(右下)
NHKドラマ『恋せぬふたり』
考証の様子

調査主体について

As Loop(アズループ)



調査代表者：三宅大二郎

大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程。アセクシュアルをはじめとする多様なセクシュアリティについて研究している(修士:人間科学)。

論文:「日本におけるアロマンティック／アセクシュアル・スペクトラムの人口学的多様性——『Aro/Ace調査2020』の分析結果から」『人口問題研究』77(2): 206-32 (2021、平森大規との共著)

書籍:「asexualのドラマトウルギー —AVENにおける定義の変遷に着目して」藤川信夫編『人生の調律師たち:動的ドラマトウルギーの展開』春風舎(2017)



今徳はる香 (特定非営利活動法人にじいろ学校)

NPO法人にじいろ学校代表理事。2016年に法人を立ち上げ、Aro/Ace向けの当事者交流会や講演会を実施。これまでに全国7都市で約50回の開催、累計約1800名が参加。最大規模の交流会では約200名の参加者を集めた。

また、全国のレインボーフェスタに参加し、LGBTに含まれないセクシュアルマイノリティに関する啓発活動も精力的に行っている。



中村健

アロマンティック・アセクシュアル、Xジェンダー当事者。

大学や企業、各メディアで多様な性に関する講演/啓発活動を行う。

NHKノーナレ「恋愛圏外」出演、

TBSラジオ「アシタノカレッジ」等、実績多数。

調査監修

平森大規

法政大学グローバル教養学部助教

専門は計量社会学、クィア・フェミニズム研究、セクシュアリティ・ジェンダー階層論、性的指向・性自認の人口学。

特に、性的指向・性自認と社会経済的地位の関連性、計量研究における性的指向・性自認の測定論、性的マイノリティと社会意識、クィア・フェミニスト方法論などに関心がある。

論文:「Asking about Sexual Orientation and Gender Identity in Social Surveys in Japan: Findings from the Osaka City Residents' Survey and Related Preparatory Studies」『Journal of Population Problems』76(4): 443-66(2020、釜野さおりとの共著)など。「Ace/Aro Scholars Support Network」創設メンバー。



用語

アセクシュアル	→	性的に惹かれない、性的欲求が他者に向かない
アロマンティック	→	恋愛的に惹かれない、恋愛感情を抱かない
デミセクシュアル／デミロマンティック	→	他者と情緒的なつながり(信頼関係)がある場合のみ性的／恋愛的に惹かれることがある
グレイ(ア)セクシュアル／(ア)ロマンティック	→	セクシュアルとアセクシュアル／ロマンティックとアロマンティックの間のどこかに位置するあり方
リスセクシュアル／リスロマンティック	→	性的／恋愛的に惹かれるが、その感情を返してほしいとは感じない、またはパートナー関係になることにこだわらない
アロマンティック／アセクシュアル・スペクトラム◇	→	本調査では上記カテゴリーを含む周辺カテゴリーを包括した用語として使用する。略す際はAro/Aceと表記する。
性的指向／恋愛指向	→	性的／恋愛的にどの性別に惹かれるのか、惹かれないのか
性的に惹(ひ)かれる◇	→	本調査では「性的な魅力を感じ、その人と性行為をしたいと思うこと」とした

* 用語の定義が人により異なるため、説明をすることでかえって答えづらくなならないよう質問紙上では用語集を用意せず、回答者の解釈に委ねる旨を記載した(◇を除く)。上記は本報告を理解するために便宜上記載したものである。

調査の背景

近年、LGBTQをはじめとする性的マイノリティが多くメディアで扱われるようになり、人権課題の一つとして広く認識されるようになりました。しかし、LGBTQの認知度が飛躍的に高まっている一方で、アロマンティック／アセクシュアル・スペクトラム(Aro/Ace)は一般にはあまり知られていないのが現状です。

一部メディアなどで取り上げられる機会が増えてきているものの、**Aro/Aceに関する学術研究はわずかしかありません**(大阪市で行われたある人口学的調査では、「アセクシュアル」に関する項目も含まれていました。とくに、Aro/Aceを主な対象とする量的調査は非常に少なく、Aro/Aceの人たちに関する基本的な情報が不足しているといえます。

調査の背景

英語圏では、Aro/Aceの人たちが交流／情報交換をするネットワーク(コミュニティ)を活かした**アンケート調査**が10年ほど前から行われています。認知度向上や学術研究の発展に貢献する一つの方法として定着し、Aro/Aceの人たちの声を届ける助けになっています。

そこで、日本でも同様の調査を実施しようと、Aro/Aceコミュニティに日頃から関わる有志のメンバーで2019年に「**Aro/Ace調査実行委員会**」を結成しました。それから一年以上にわたり、学術研究に携る方々の助言やAro/Aceの人たちの意見を参考にしながら議論を重ね、2020年に「**アロマンティック／アセクシュアル・スペクトラム調査2020**」を実施しました。

調査の背景

Aro/Ace調査2020には約1700という多くの回答が集まり、調査結果が各メディアで紹介されたほか、論文として発表することもできました。

2021年に「Aro/Ace調査実行委員会」を「As Loop」に改名し、活動を幅広く展開させる一方で、より多くのAro/Aceの人たちの声を届けるべく、2022年6月に「Aro/Ace調査2022」を実施しました。

本調査が多くのAro/Aceの人たちの、そしてセクシュアリティにかかわらず誰もが生きやすい社会へ変革する契機となることを期待しています。

調査の目的

- ①Aro/Aceの**可視化**を促す
- ②Aro/Aceコミュニティに集まる人たちの**多様性**について議論するための情報を収集する
- ③Aro/Aceに関する情報を提供し、**学術研究**の発展やAro/Aceに関する**運動**の活性化に寄与する

* 本調査は回答者のセクシュアリティを検討・診断・決定するものではありません

調査の概要

- ・調査方法: ウェブ上のアンケートフォームを利用 (Googleフォーム)
- ・回収期間: 2022年6月1日12:00~2022年6月30日12:00
- ・調査対象: 以下の①~③全てに該当する方
 - ①アロマンティック／アセクシュアル・スペクトラム
(アロマンティック、アセクシュアル、ノンセクシュアル、デミセクシュアル、デミロマンティック、リスセクシュアル、リスロマンティック、その他周辺のセクシュアリティ)
を自認している、またはそれに近い、そうかもしれないと思っている方
 - ②日本語の読み書きをする方 (国籍、居住地は問わない)
 - ③年齢が回答時13歳以上の方
- ・総回答数: 2331回答 (有効回答: 2318)
- ・最大設問数: 109問 (内5問が必須項目)
- ・ウェブサイト、Twitter、LINEグループ等で周知

【前回調査】

2020年6月1日12:00~2020年6月30日12:00

総回答数: 1693回答 (有効回答: 1685)

最大設問数: 98問 (内5問が必須項目)

設問

変数、切り口として

【年齢】【居住地】【学歴】【職業】【出生時の性別】【性自認】
【性的指向】【恋愛の指向】【言葉を知った年齢】【自認年齢】等

恋愛の項目

【付き合いたい】【独占欲】【ドキドキする】【深く知りたい】
【自認前／後恋愛の惹かれ】等

性的項目

【性行為欲】【性欲】【性的に魅力的】【自認前／後性的惹かれ】
【性行為経験】【自慰行為頻度】等

その他

【カミングアウト】【パートナー関係】【結婚・子ども】【嫌悪感】
【愛情】【推し】【不安・困難】等

* 本資料は概要報告のため、設問の一部を抜粋して調査結果を報告します

注意点

- ・本報告に記載されている調査結果はいずれも**速報値**であり、今後、修正される可能性があります
- ・調査の性質上、本報告には一部性的な事柄を連想させる言葉や記述が含まれます
- ・設問の多くは任意回答のため、設問により回答数が異なります
- ・割合(%)は小数点第二位で四捨五入するため、すべてを足しても100%にならないことがあります
- ・複数回答の質問は割合(%)を各選択肢／全体の回答数で算出しています
- ・紹介する事例は、プライバシー保護のため一部表現を変更しています

引用

- ・資料を引用する場合は以下を明記してください

三宅大二郎・今徳はる香・中村健・田中裕也 2022「アロマンティック／アセクシュアル・スペクトラム調査2022概要報告」As Loop.

- ・商用など個人利用以外（下記除く）で引用される方は事前にお問い合わせください
- ・論文など学術目的で引用される場合は上記引用元を明記の上、
完成稿をお送りください
- ・メディア関係の方が引用される場合は、記事を公開／発刊後にお送りください

【問い合わせ・送付先】

As Loop(アズループ)

E-mail info@asloop.org

ホームページ <https://asloop.jimdofree.com/>

標本の構成



本調査の特徴

オープン型ウェブ調査

- ①**非確率標本**: 調査実施者が広報を行い、協力者を集める
 - * 調査結果は社会全体の正確な縮図ではない
- ② 調査内容に強い関心を持つ人が自発的に回答するため、無作為抽出では把握困難な人々の回答を得ることができる

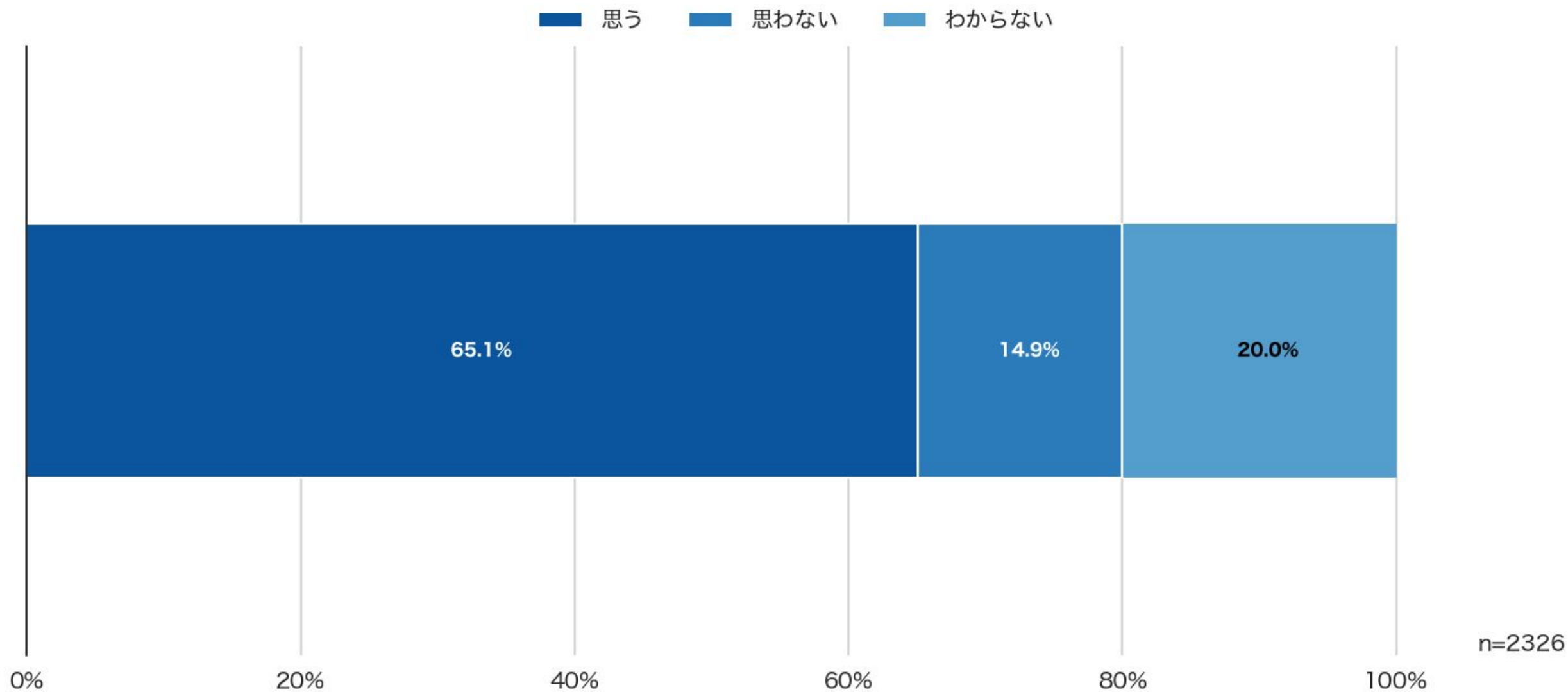


Aro/Aceについて調べる際に有用だが、
調査データの特徴を把握する必要性

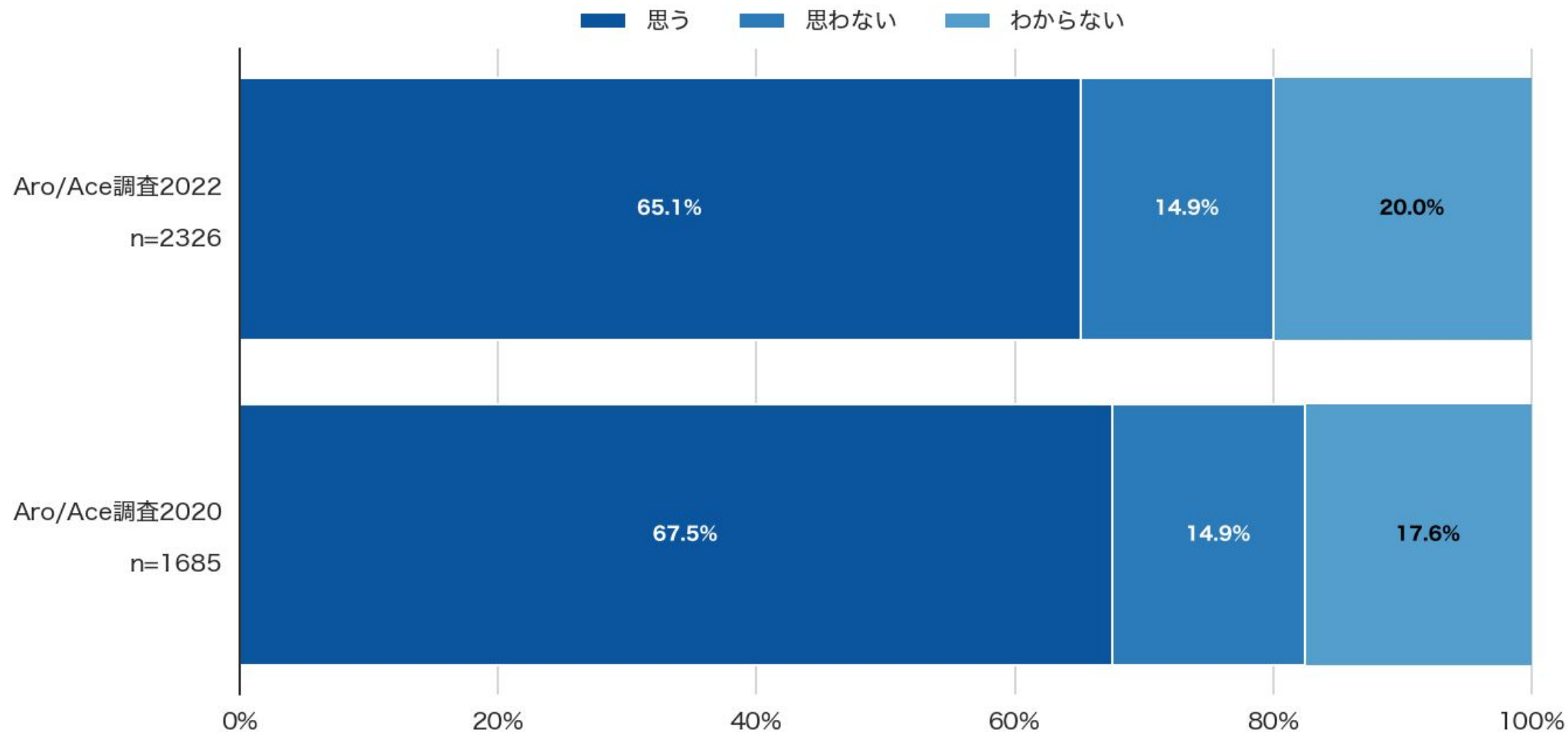
国勢調査との比較



出生時の性別と、現在自分が捉えている性別が「一致」しているか



出生時の性別と、現在自分が捉えている性別が「一致」しているか (前回調査との比較)



男女比

■ 女性 ■ 男性

Aro/Ace調査2022
「一致」している人

n=1508

94.6%

5.4%

令和2年国勢調査 (2020)

N=126146099

51.4%

48.6%

0%

20%

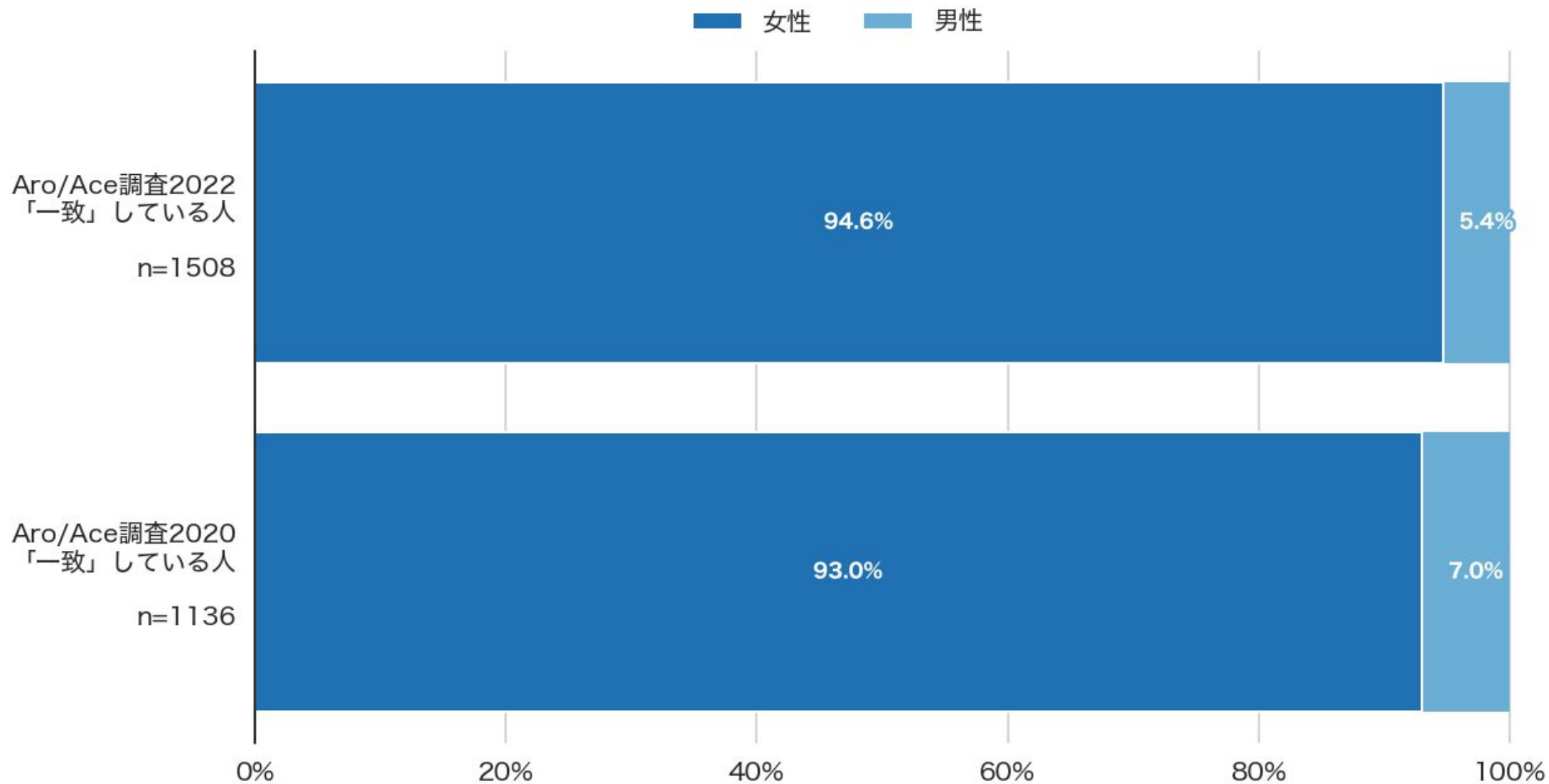
40%

60%

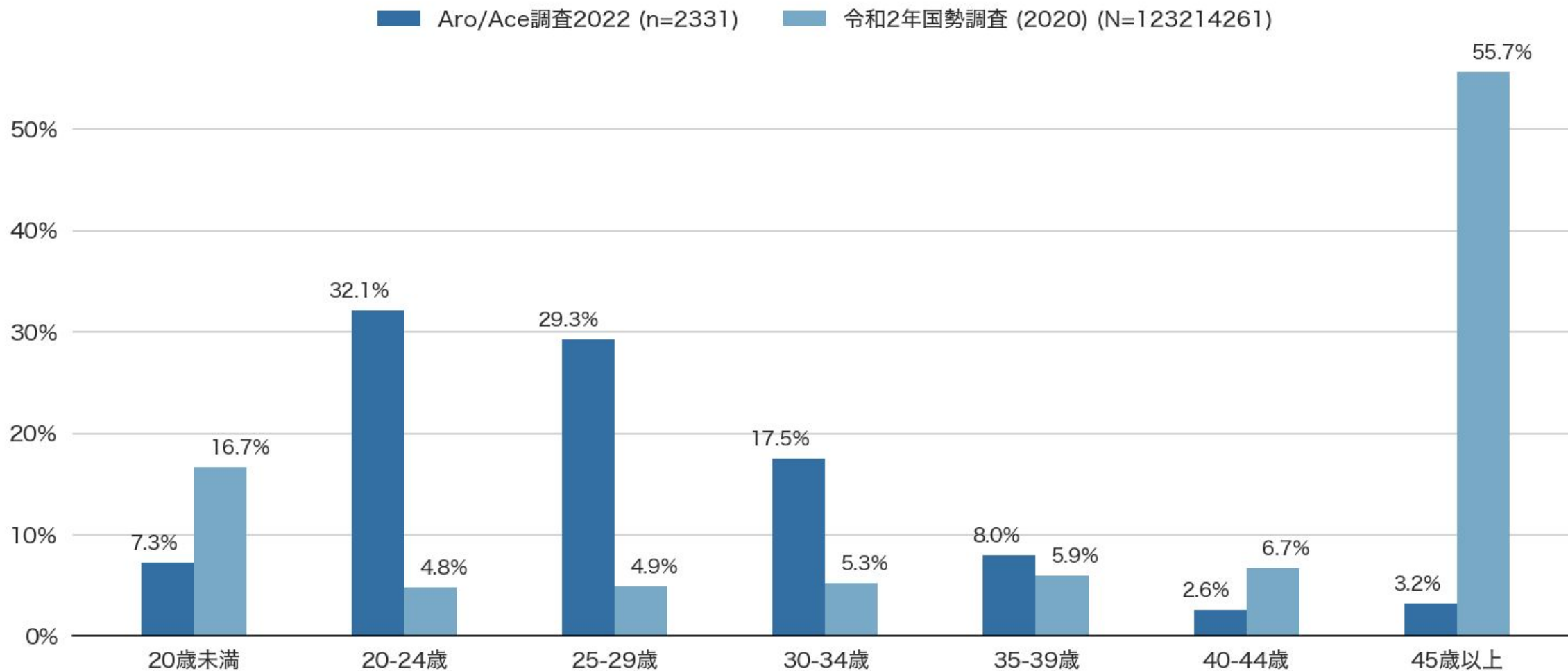
80%

100%

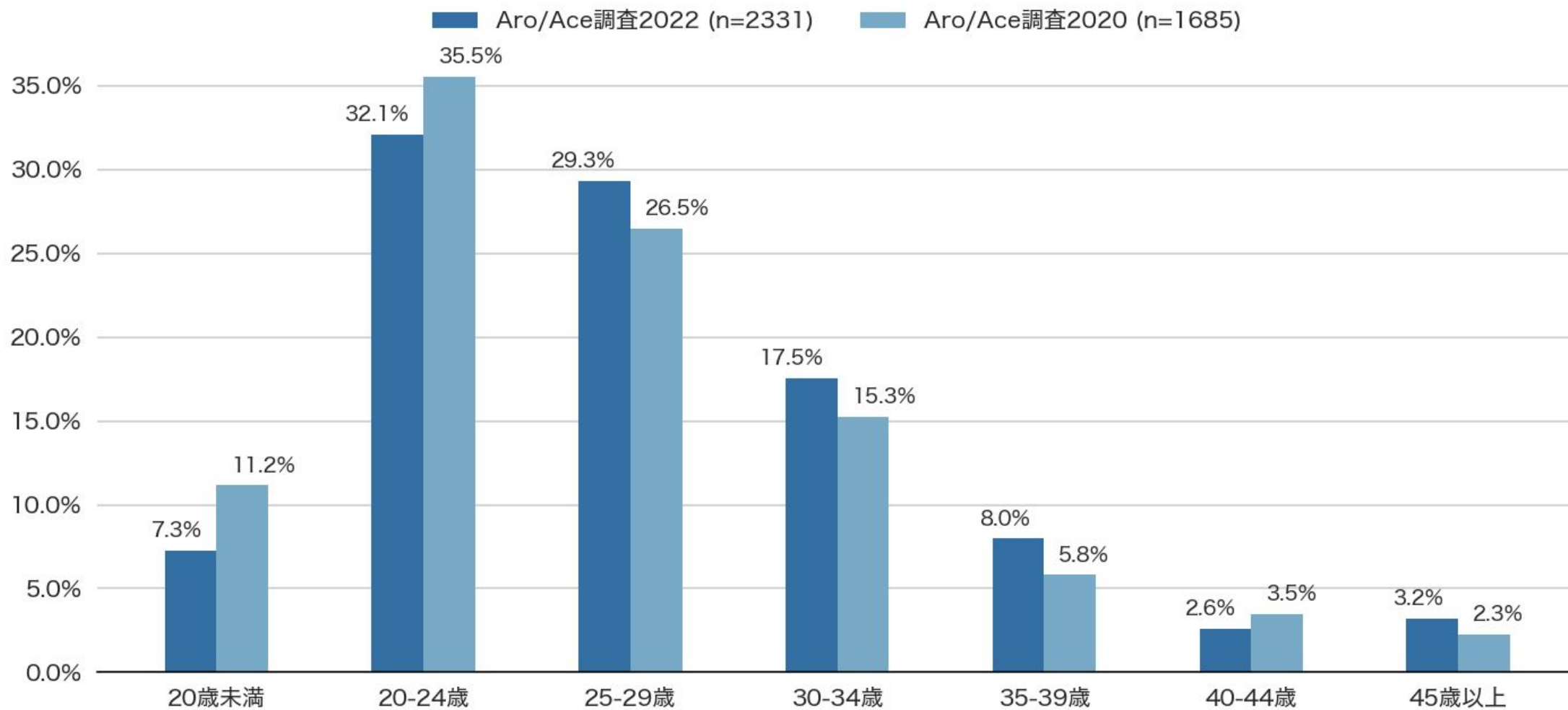
男女比(前回調査との比較)



年齢

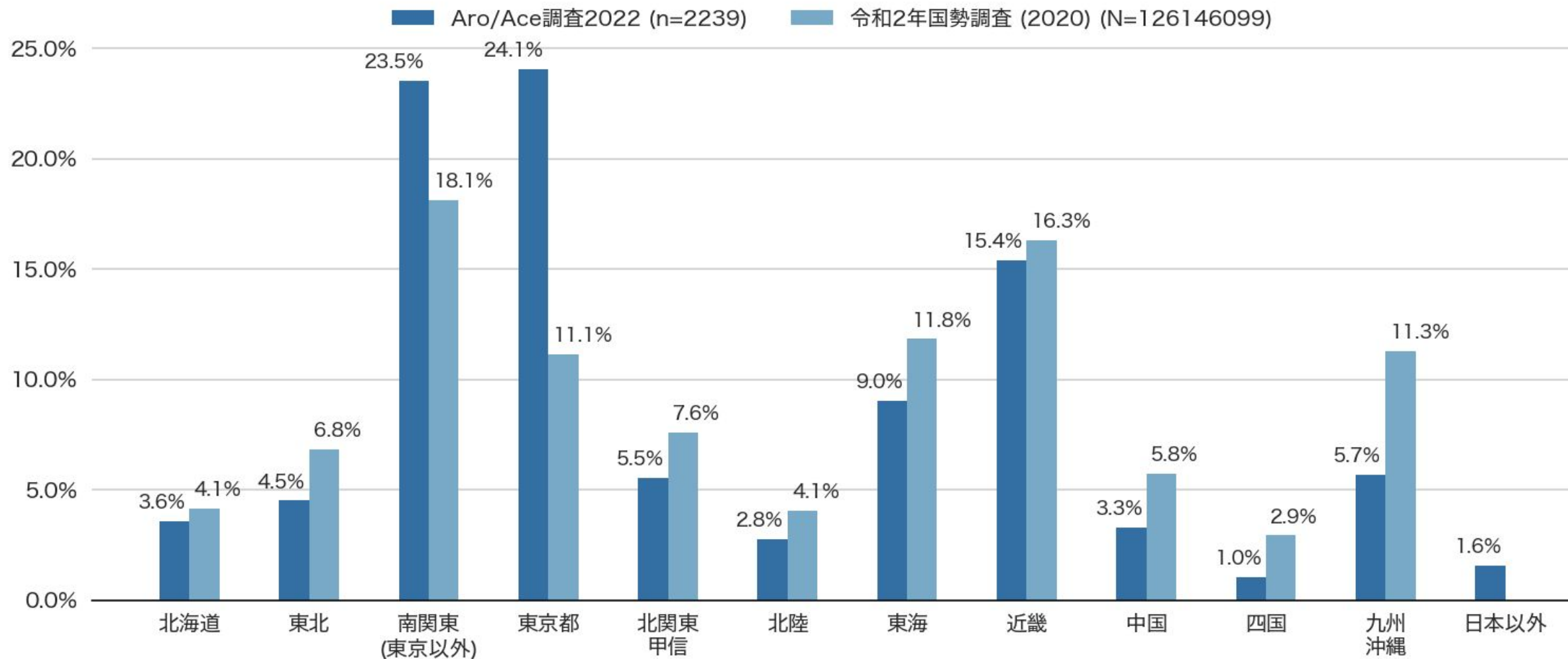


年齢(前回調査との比較)

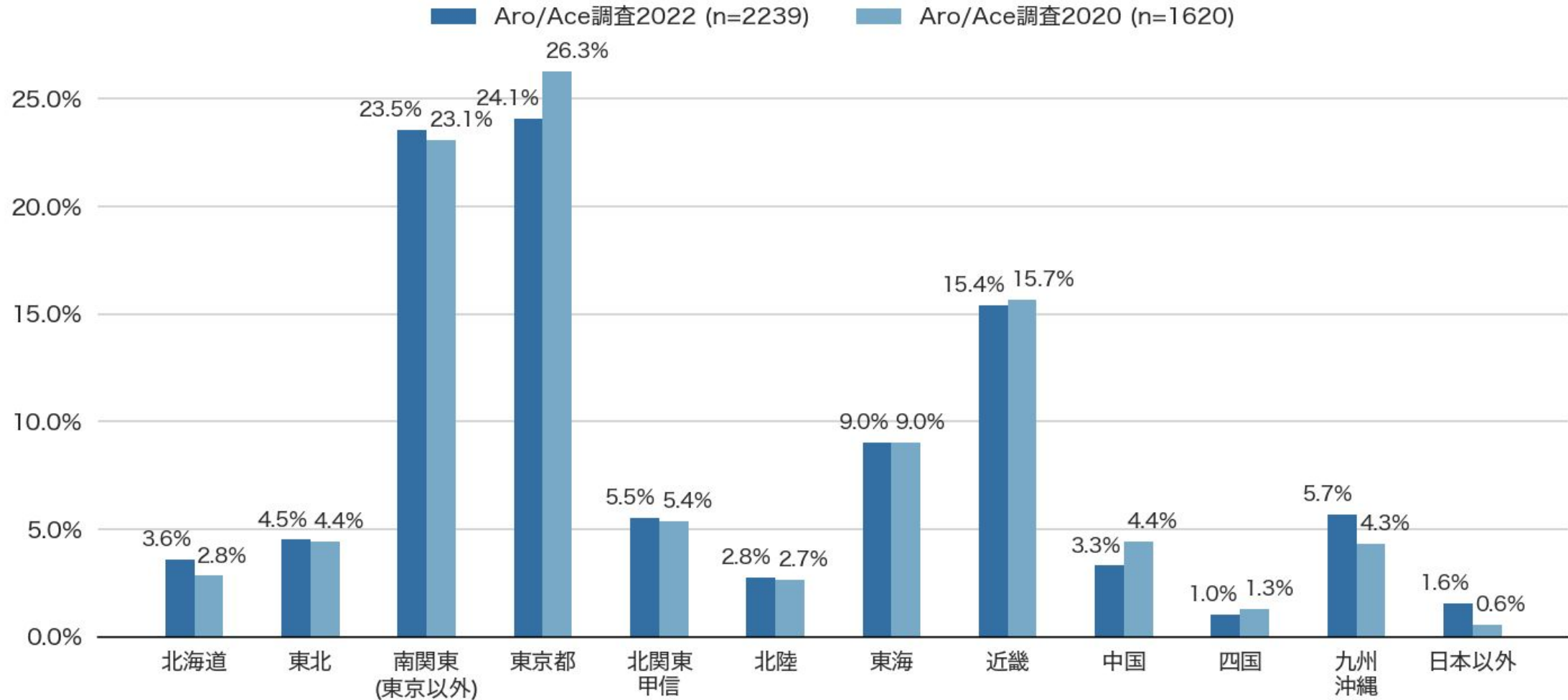


	平均	中央値	年齢幅
Aro/Ace調査2022	27.4	26	14-62
Aro/Ace調査2020	26.5	25	13-63

居住地



居住地(前回調査との比較)



標本の構成

比較からわかったこと

- 男女比は**シスジェンダー女性**の割合が大きい
(質問の形式が異なるため単純に比較はできない)
- **20代以下の回答が多い**(29歳までで全体の68.7%) * 2020は73.2%
- **東京都、南関東からの回答が多い**

→「Aro/Ace調査2022」は貴重なデータではあるが、
調査の結果が本調査特有の結果であるか、日本のAro/Ace一般にあてはまるものなのか
は、今後さらなる検討が必要である。

* シスジェンダー＝出生時の性別と現在自分が捉えている性別が「一致」している

調査結果の 概要報告

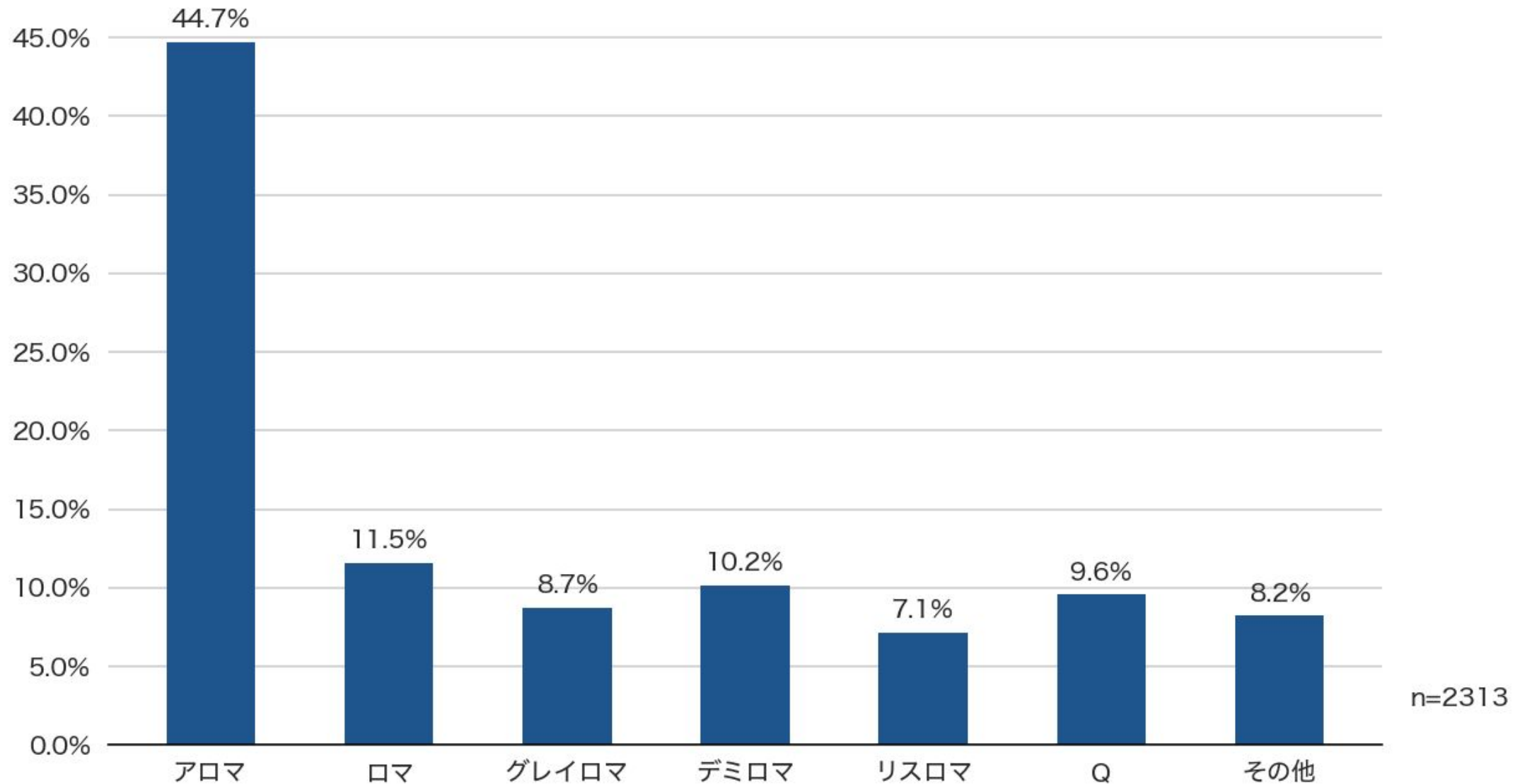


表記

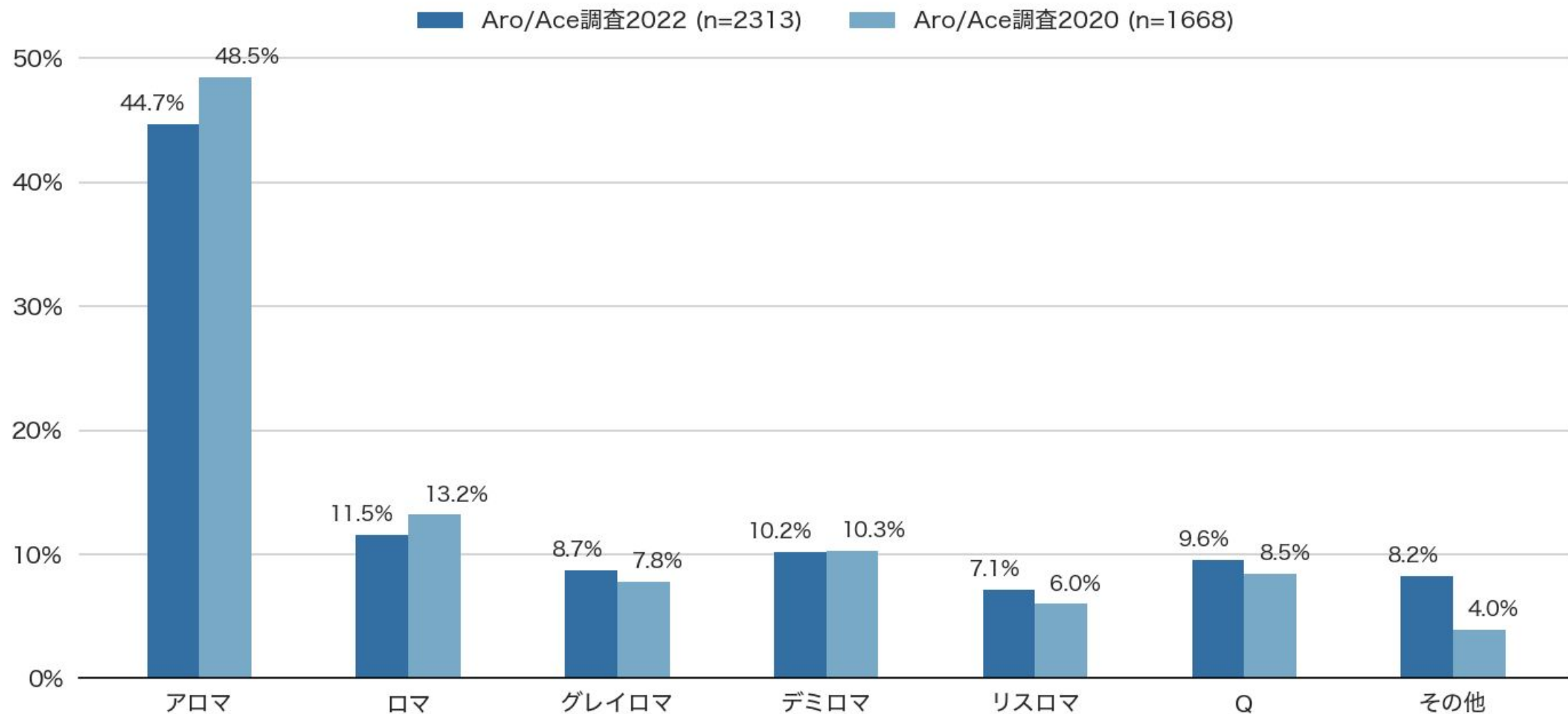
本報告では、図表の視認性向上のため、以下の表記を用いることがあります。

アセクシュアル	→	アセク
アロマンティック	→	アロマ
セクシュアル【性的に惹かれる】	→	セク
ロマンティック【恋愛的に惹かれる】	→	ロマ
デミセクシュアル／デミロマンティック	→	デミセク／デミロマ
グレイセクシュアル／グレイアセクシュアル	→	グレイセク
グレイロマンティック／グレイアロマンティック	→	グレイロマ
リスセクシュアル／リスロマンティック	→	リスセク／リスロマ
クエスチョニング	→	Q

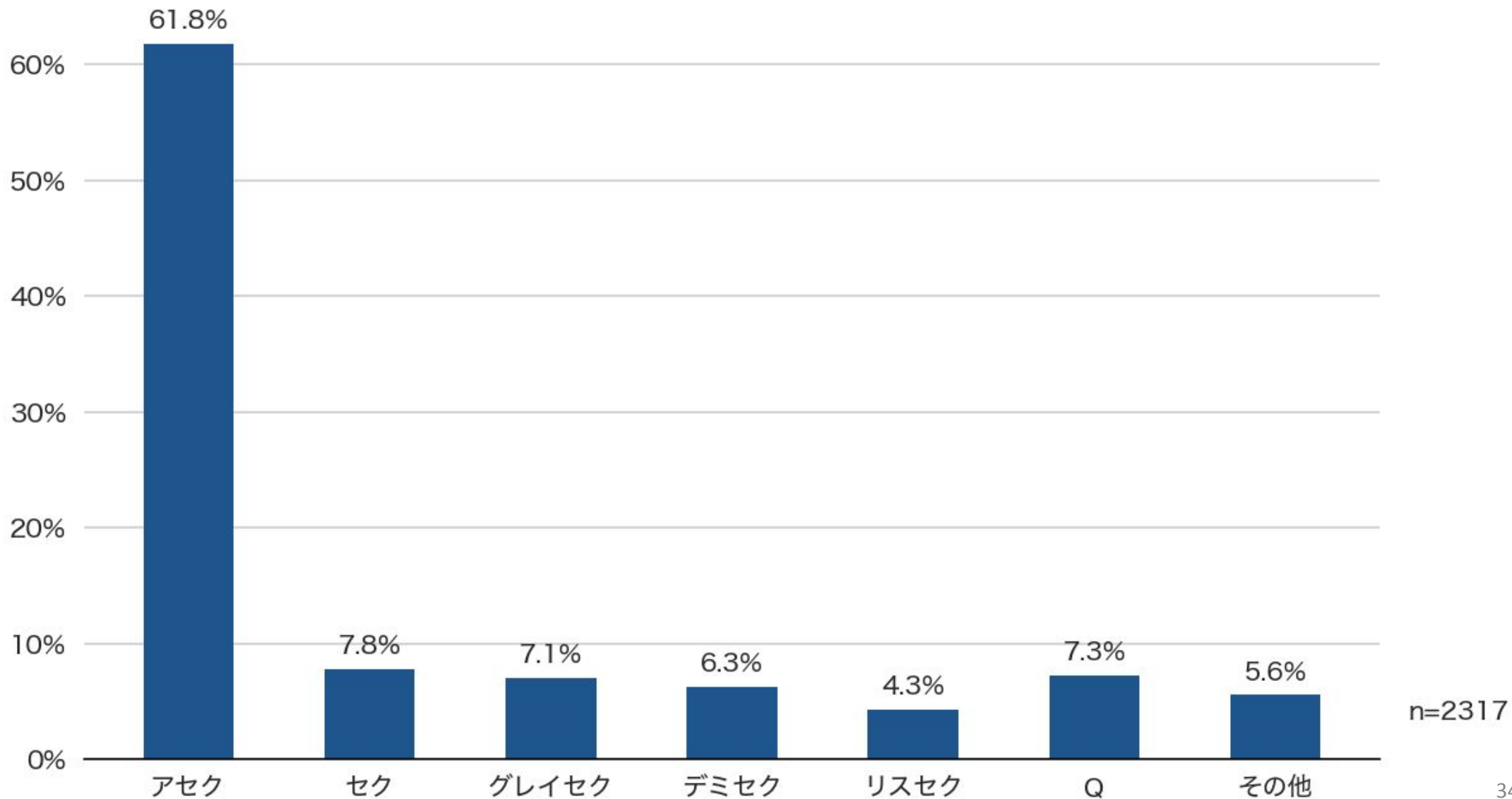
自認している恋愛指向のアイデンティティ



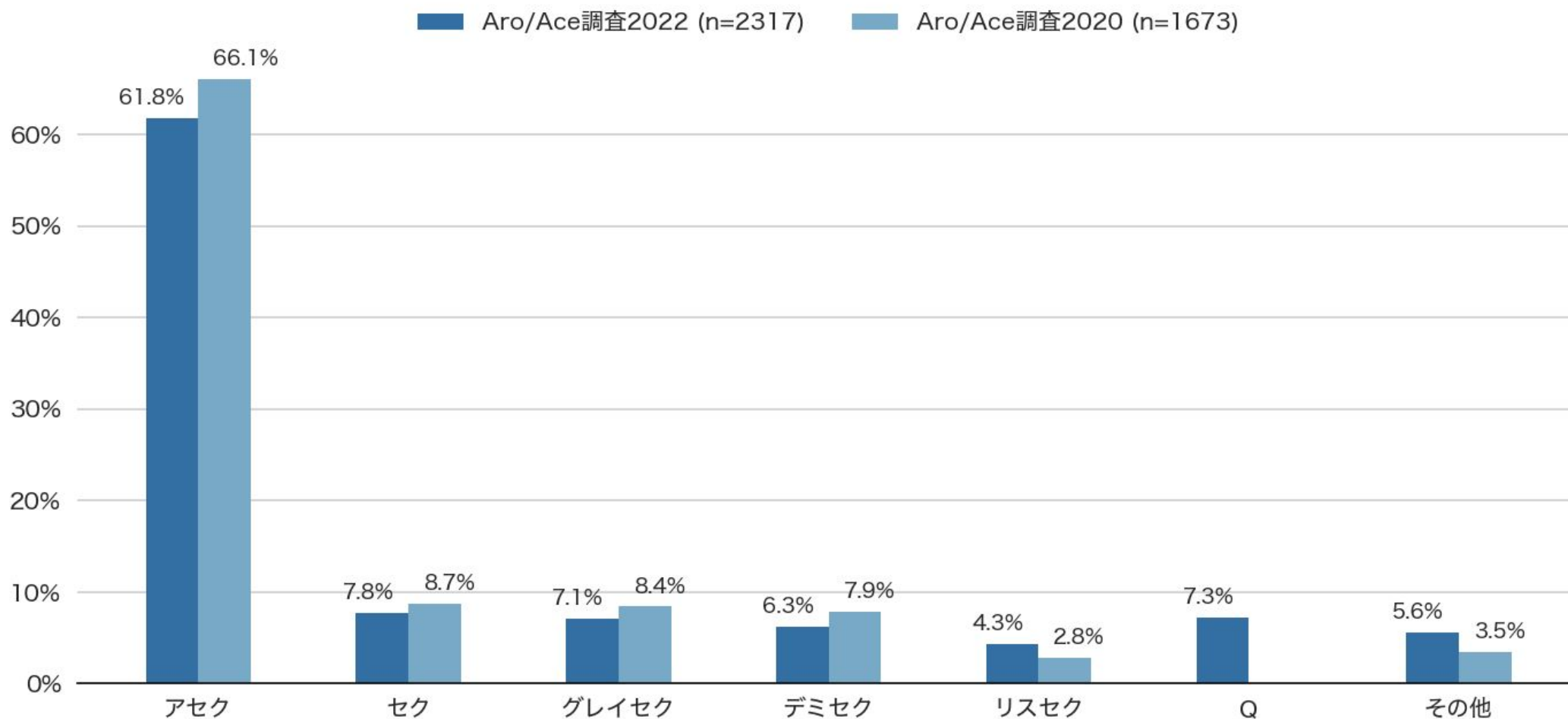
自認している恋愛指向のアイデンティティ (前回調査との比較)



自認している性的指向のアイデンティティ



自認している性的指向のアイデンティティ (前回調査との比較)



*Aro/Ace調査2020には設定上の誤りがあり、「クエスチョニング」がデフォルトの選択肢に含まれていないため、結果の解釈には留意が必要

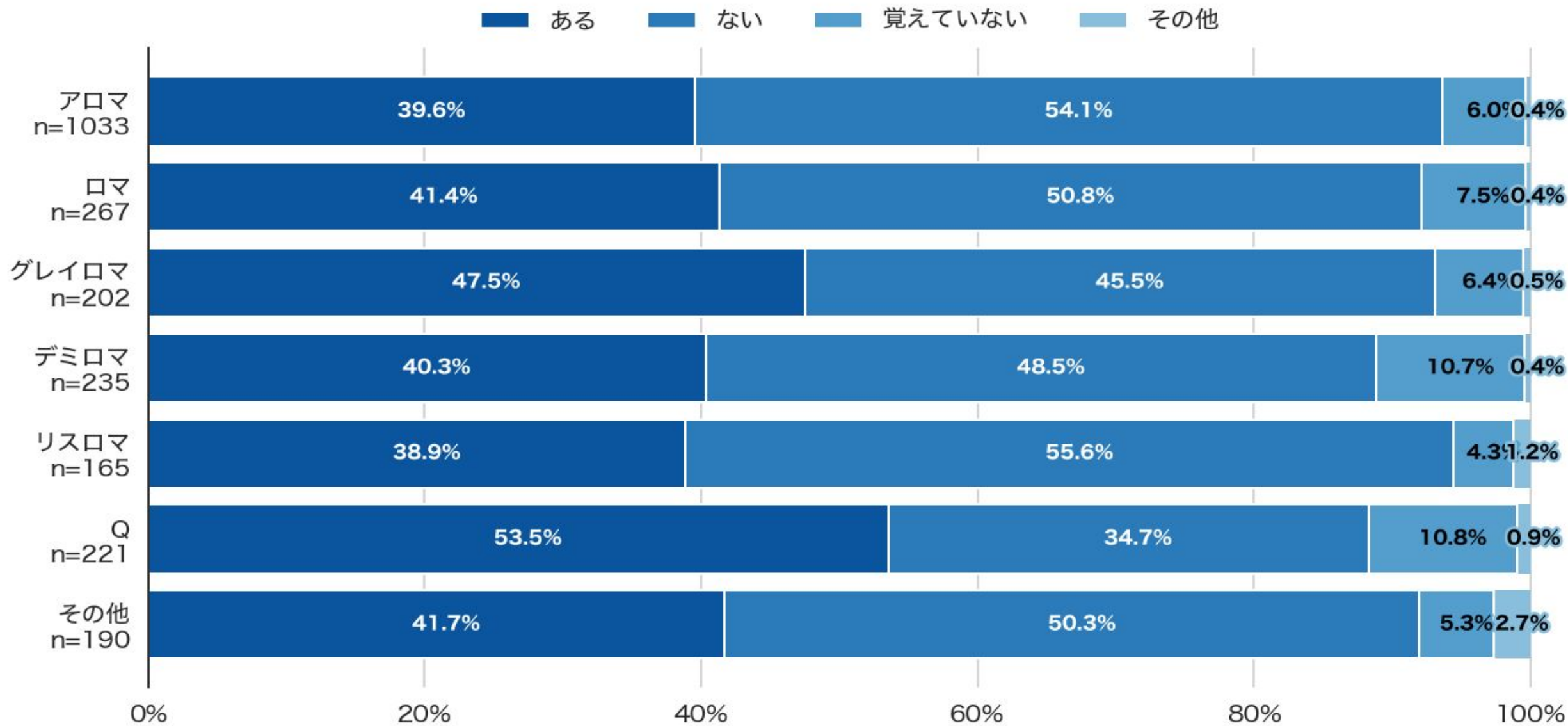
主な恋愛的指向×性的指向アイデンティティの組み合わせ

	Aro/Ace調査2022	Aro/Ace調査2020
アロマ×アセク	33.4%	37.4%
ロマ×アセク	9.0%	10.4%
アロマ×セク	4.2%	5.5%
デミロマ×デミセク	3.7%	4.7%
Q×アセク	3.9%	4.4%
デミロマ×アセク	3.8%	3.5%
グレイロマ×アセク	4.0%	3.4%
リスロマ×アセク	3.9%	2.8%
グレイロマ×グレイセク	2.5%	2.8%
リスロマ×リスセク	1.8%	1.4%

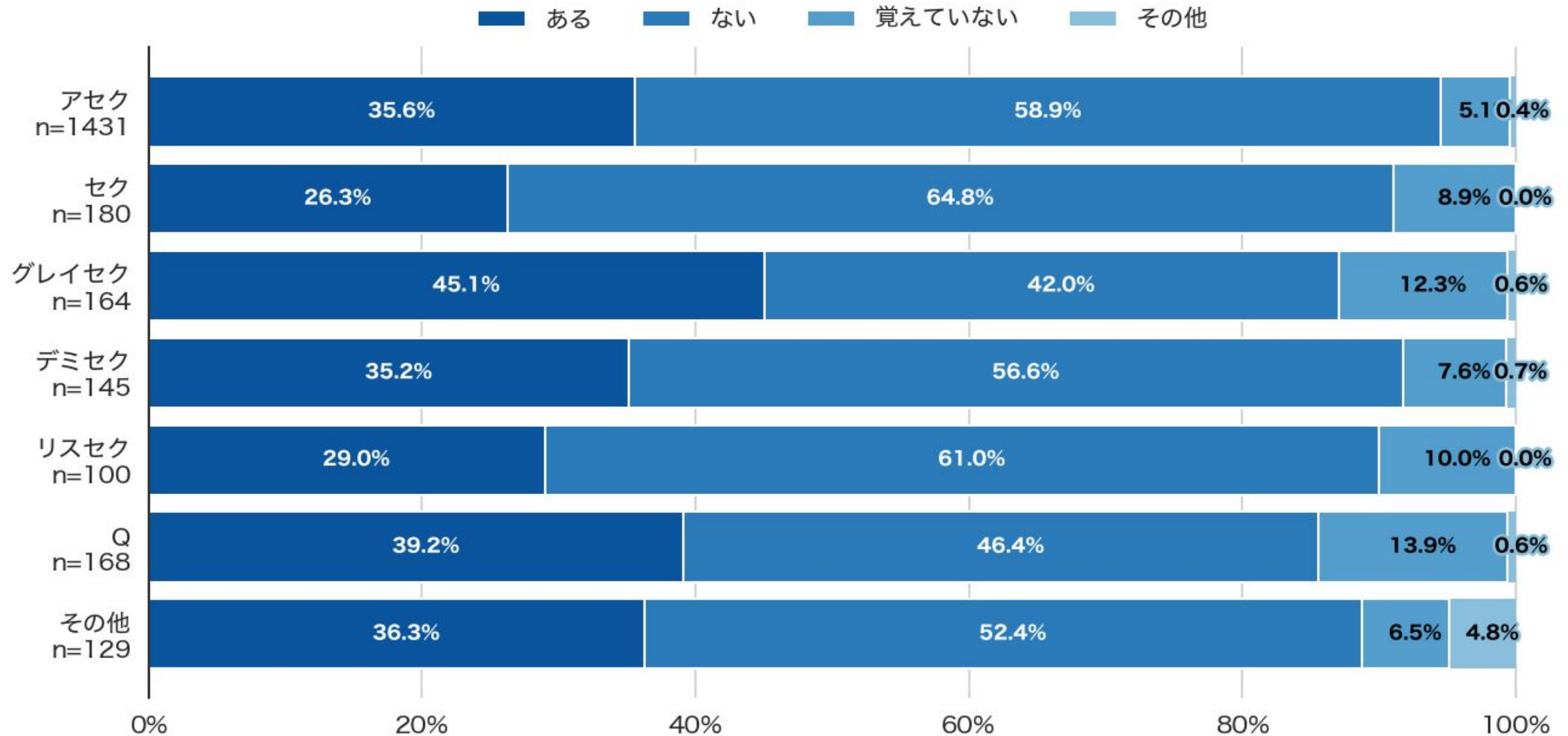
Aro/Ace調査2022:n=2305
Aro/Ace調査2020:n=1695

* 組み合わせの中から任意で抜粋しているため、回答数による降順ではない。Aro/Ace調査2020は設定上の誤りがあり、「クエスチョニング」がデフォルトの選択肢に含まれていないため、結果の解釈には留意が必要。

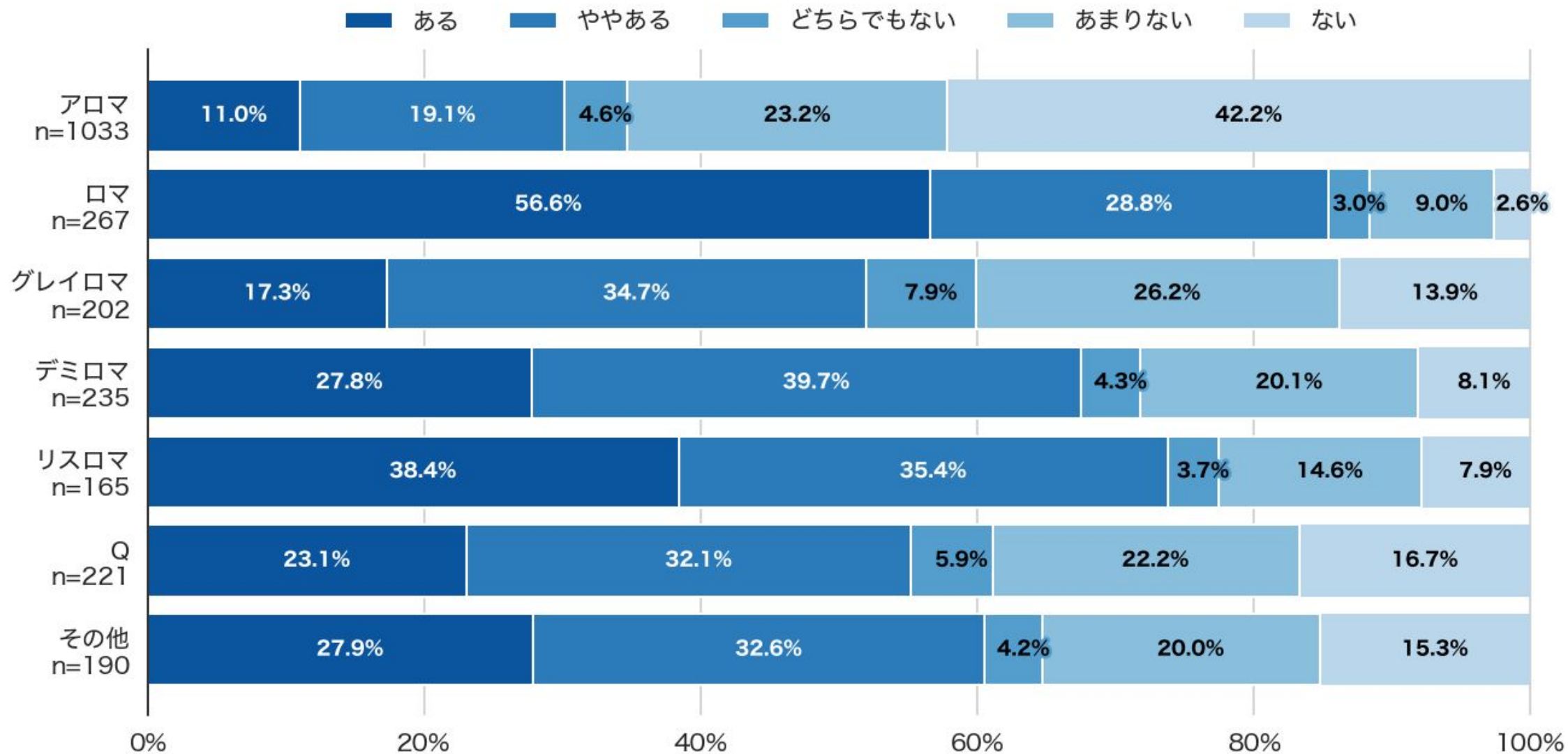
自認をためらったことがあるか×恋愛的指向



自認をためらったことがあるか×性的指向

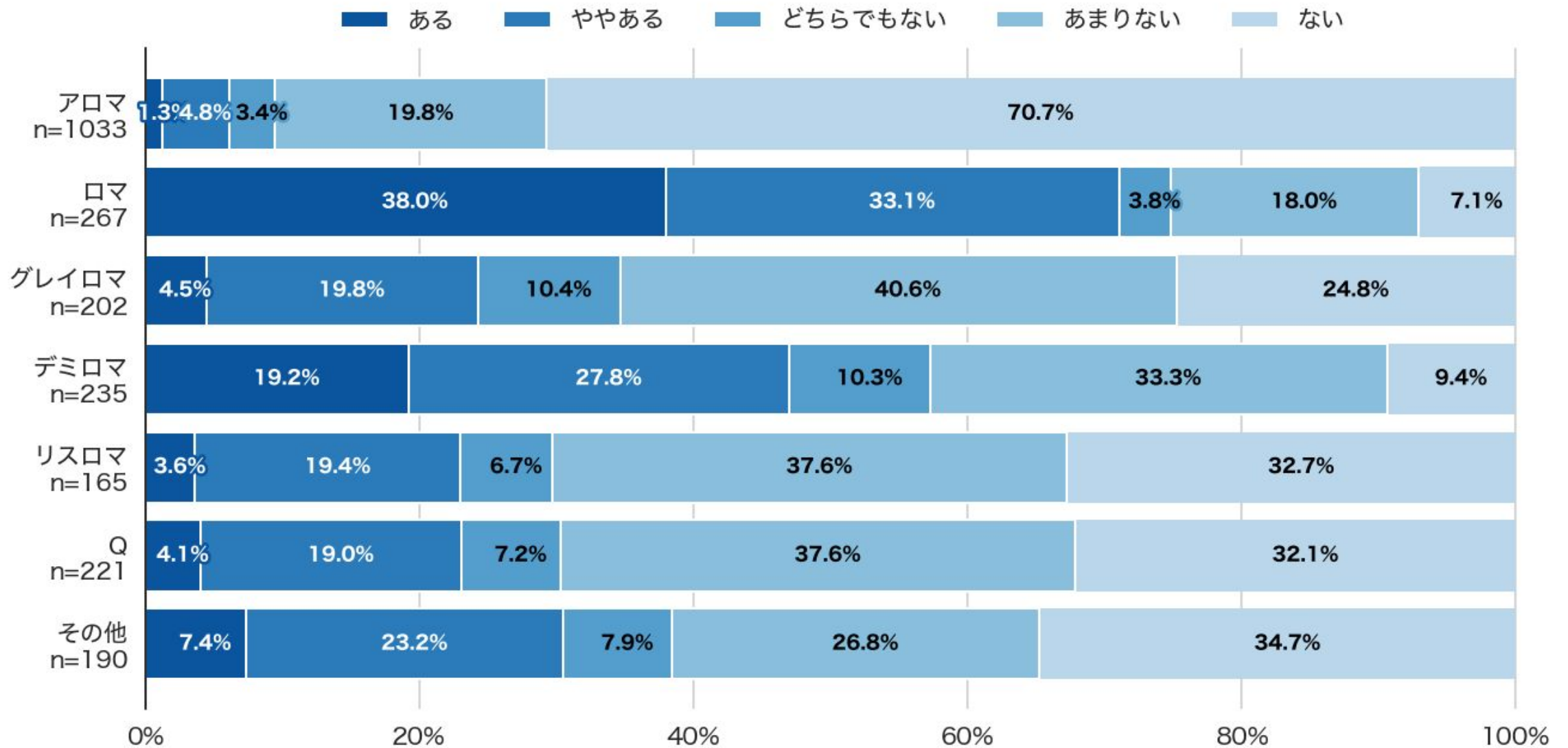


特定の人に胸が「ドキドキ」する感情を抱くことがあるか×恋愛的指向



* 本調査における「ドキドキ」には憧れなど恋愛的以外の好意的な感情も含む

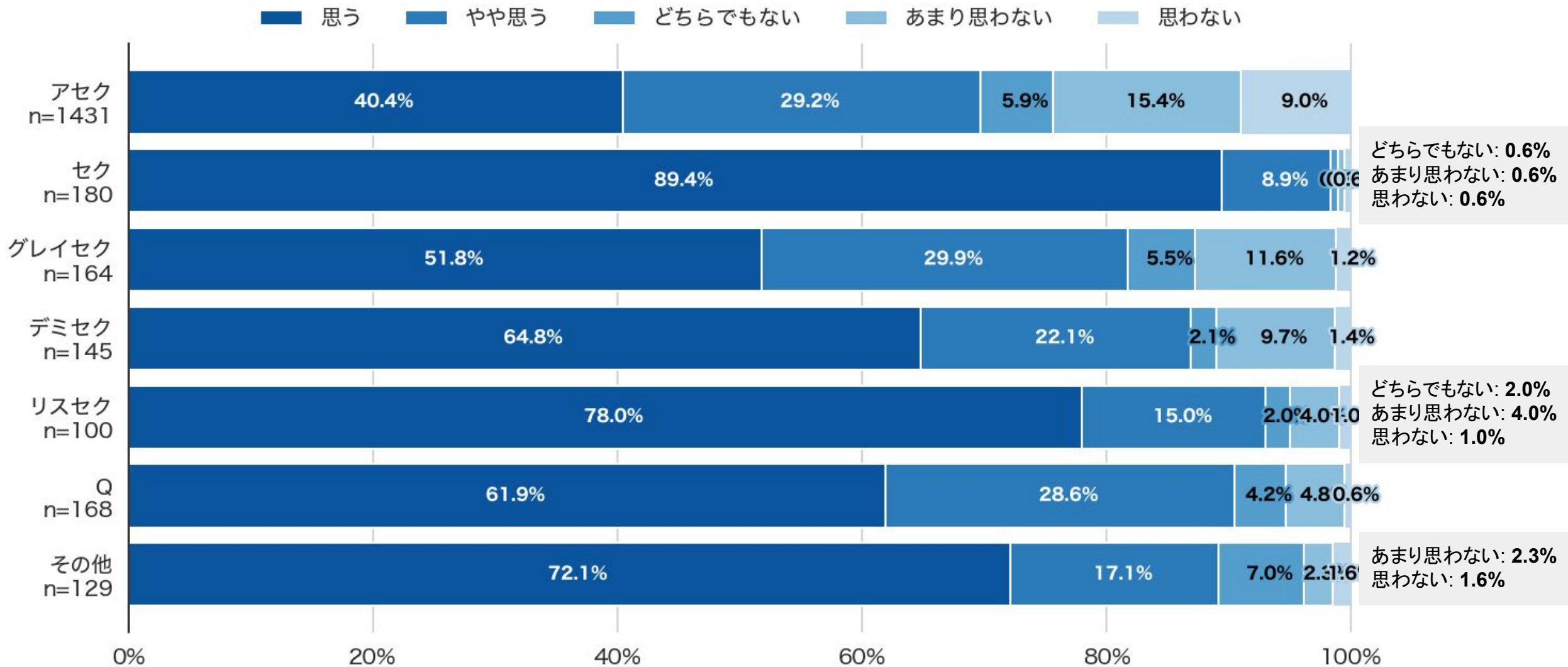
「付き合いたい」と思うことがあるか×恋愛的指向



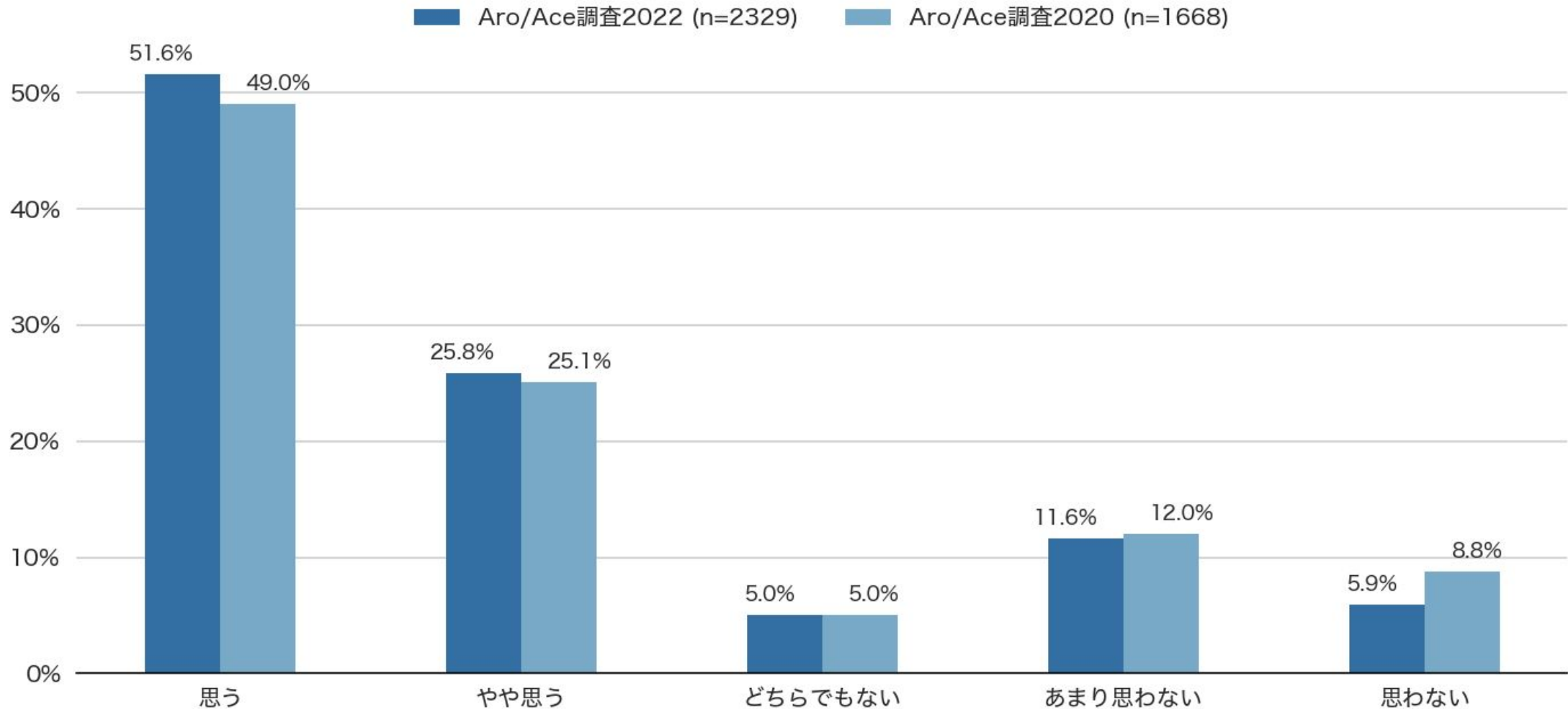
以降には、

具体的な行為の名称や性的な言葉が含まれます。

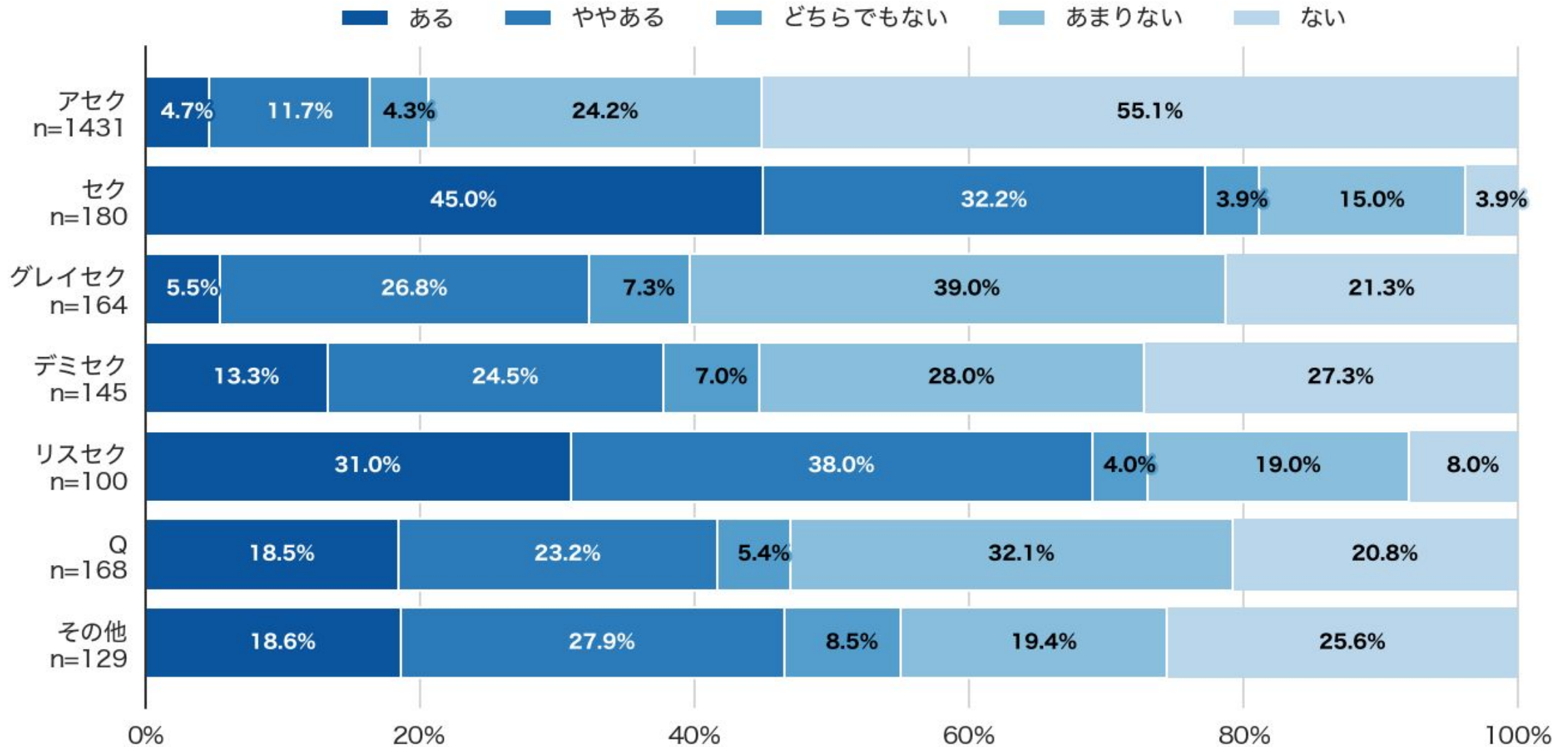
自分に"性欲"があると思うか×性的指向



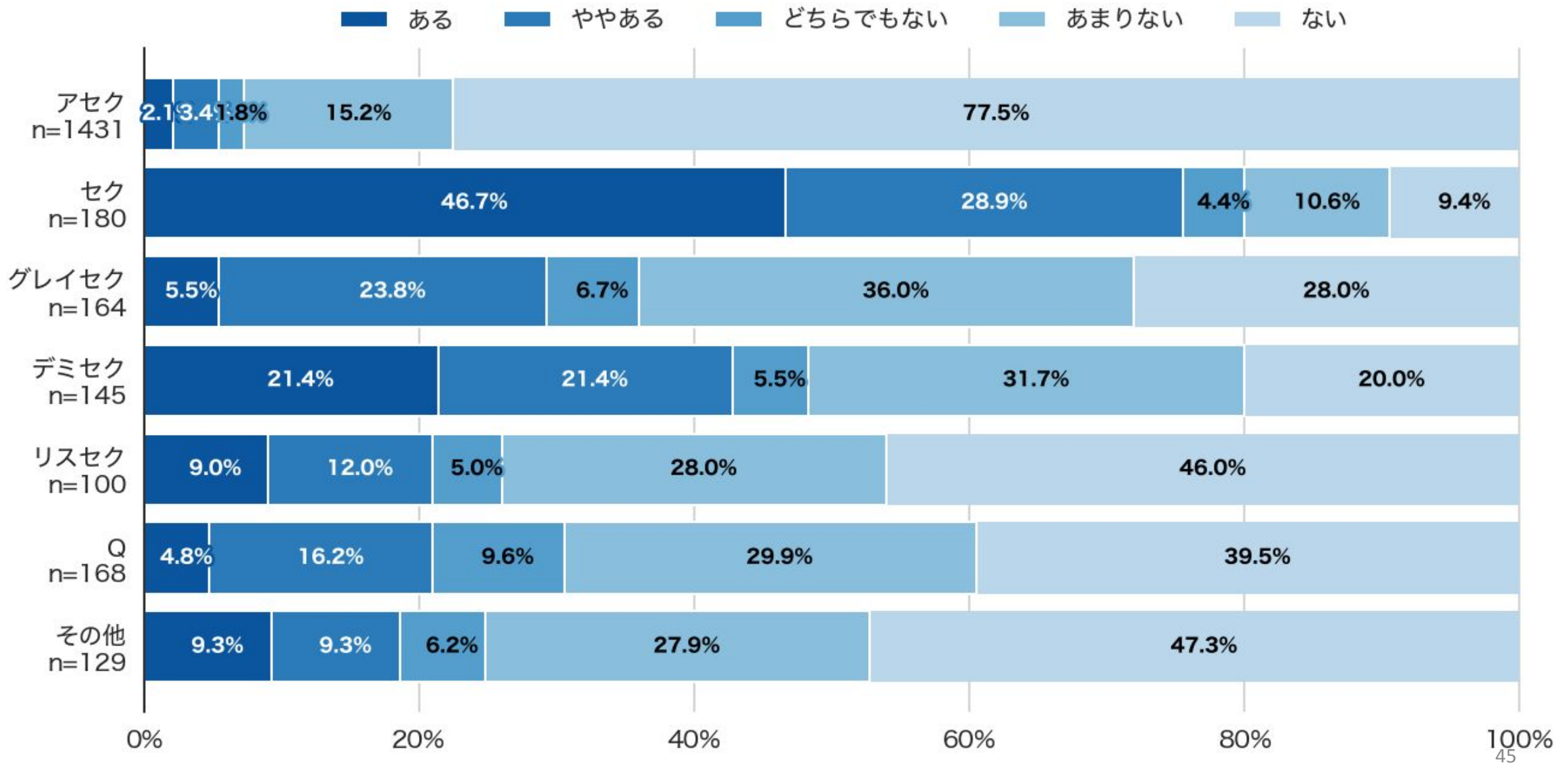
自分に"性欲"があると思うか×性的指向 (前回調査との比較)



他の人を性的な意味で魅力的だと感じたことがあるか×性的指向



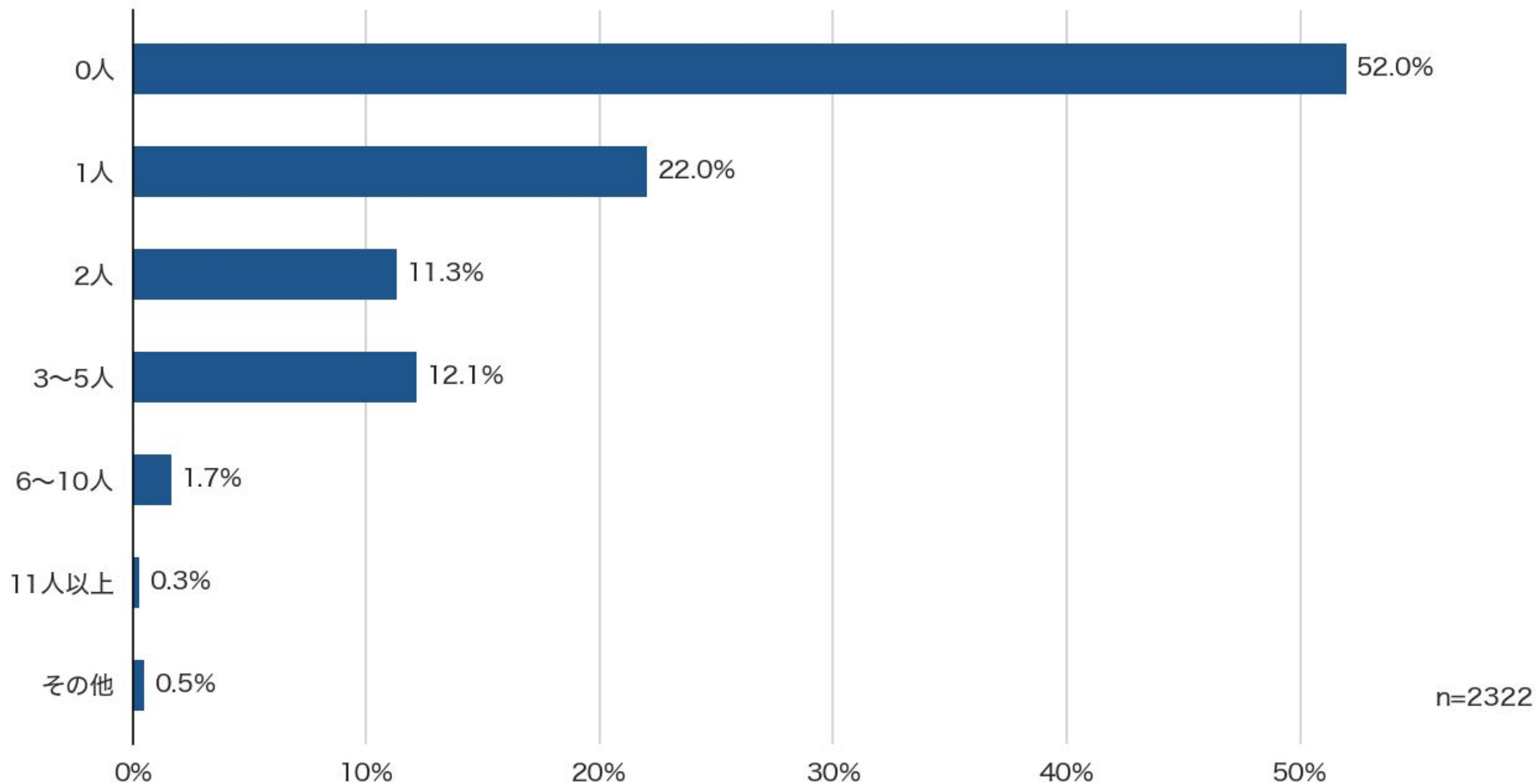
他の人と性行為をしようと思うことがあるか×性的指向



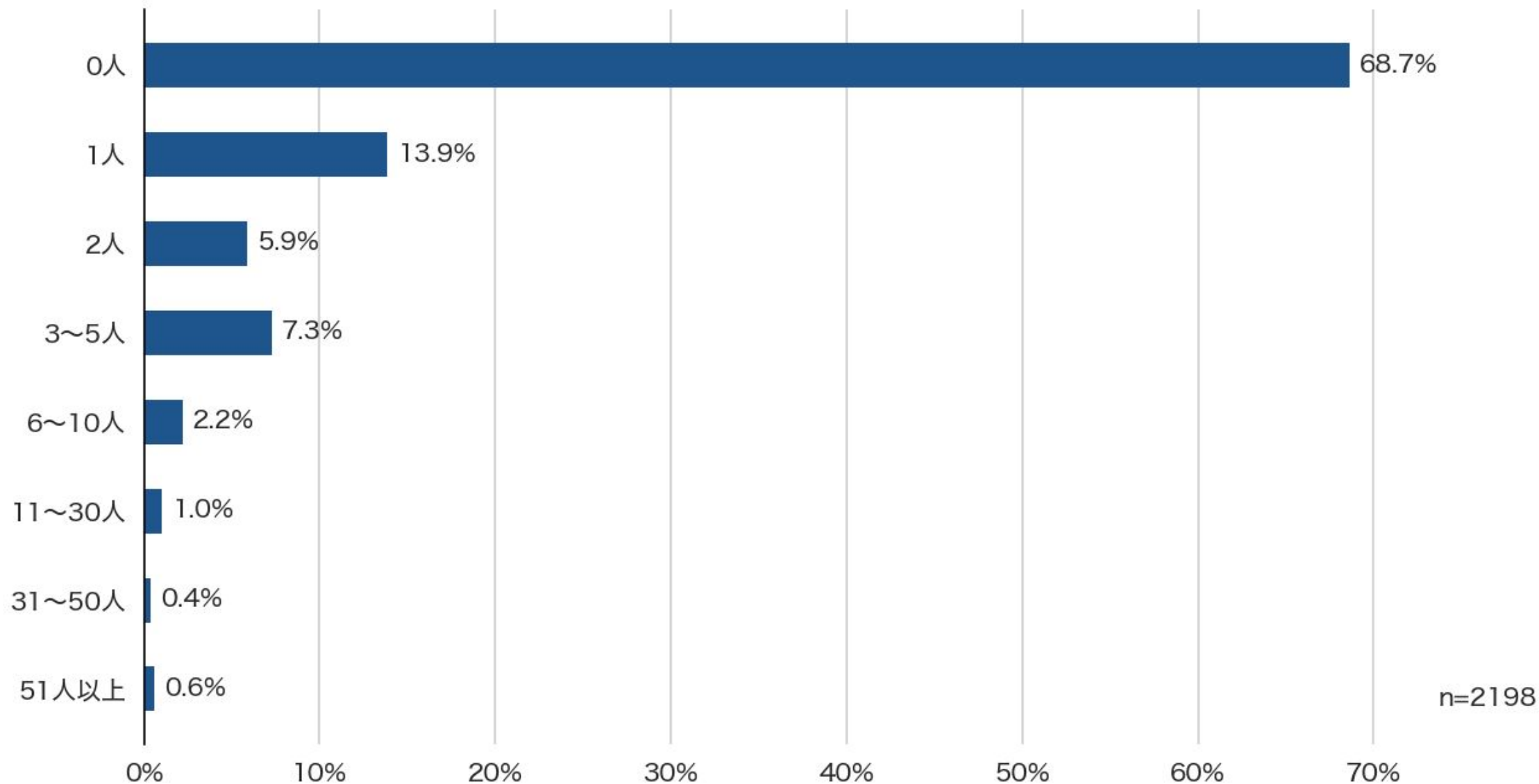
休憩



過去の恋人人数

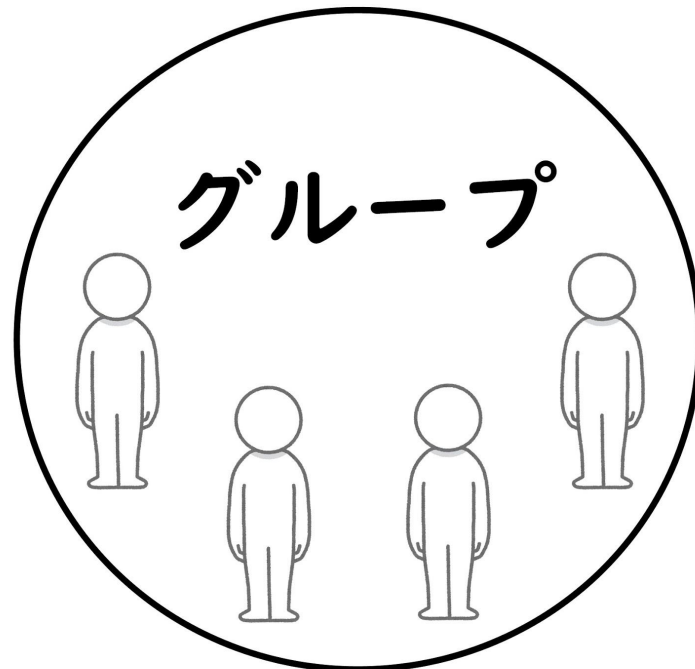
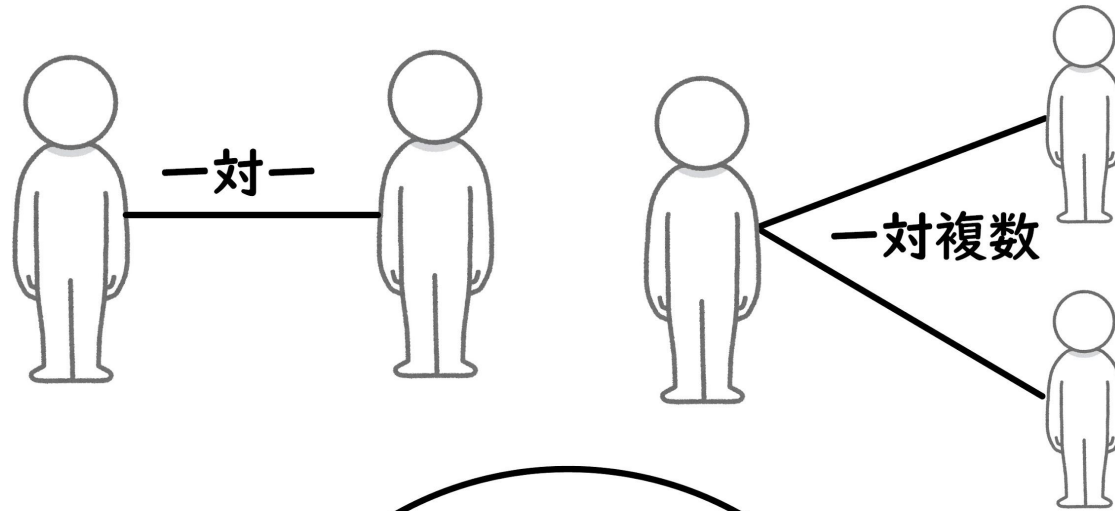


これまでに性行為をした人数



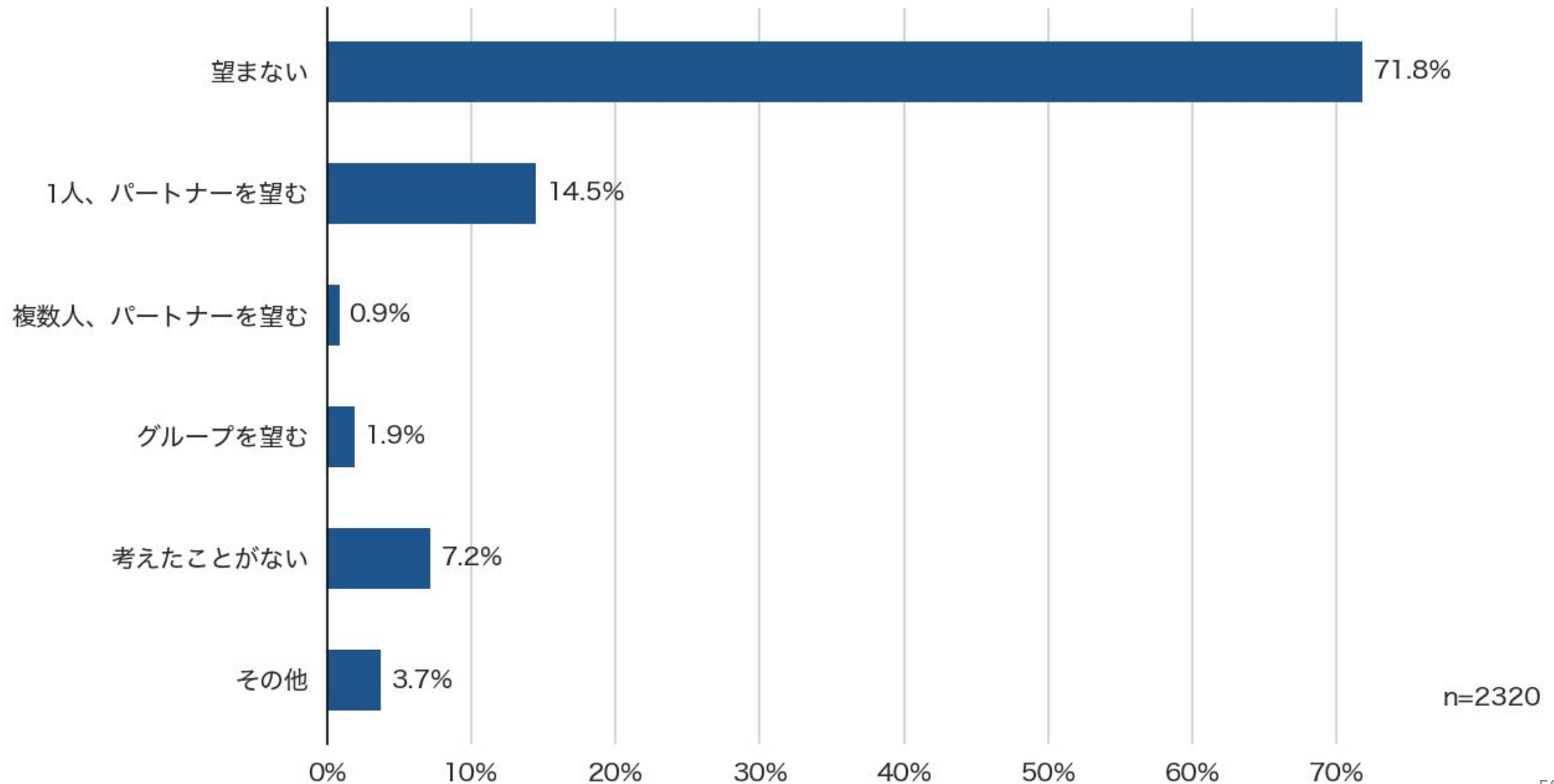
* 本調査における性行為の例: 他の人と手や口で性器などを刺激すること、挿入行為など

パートナー等とは

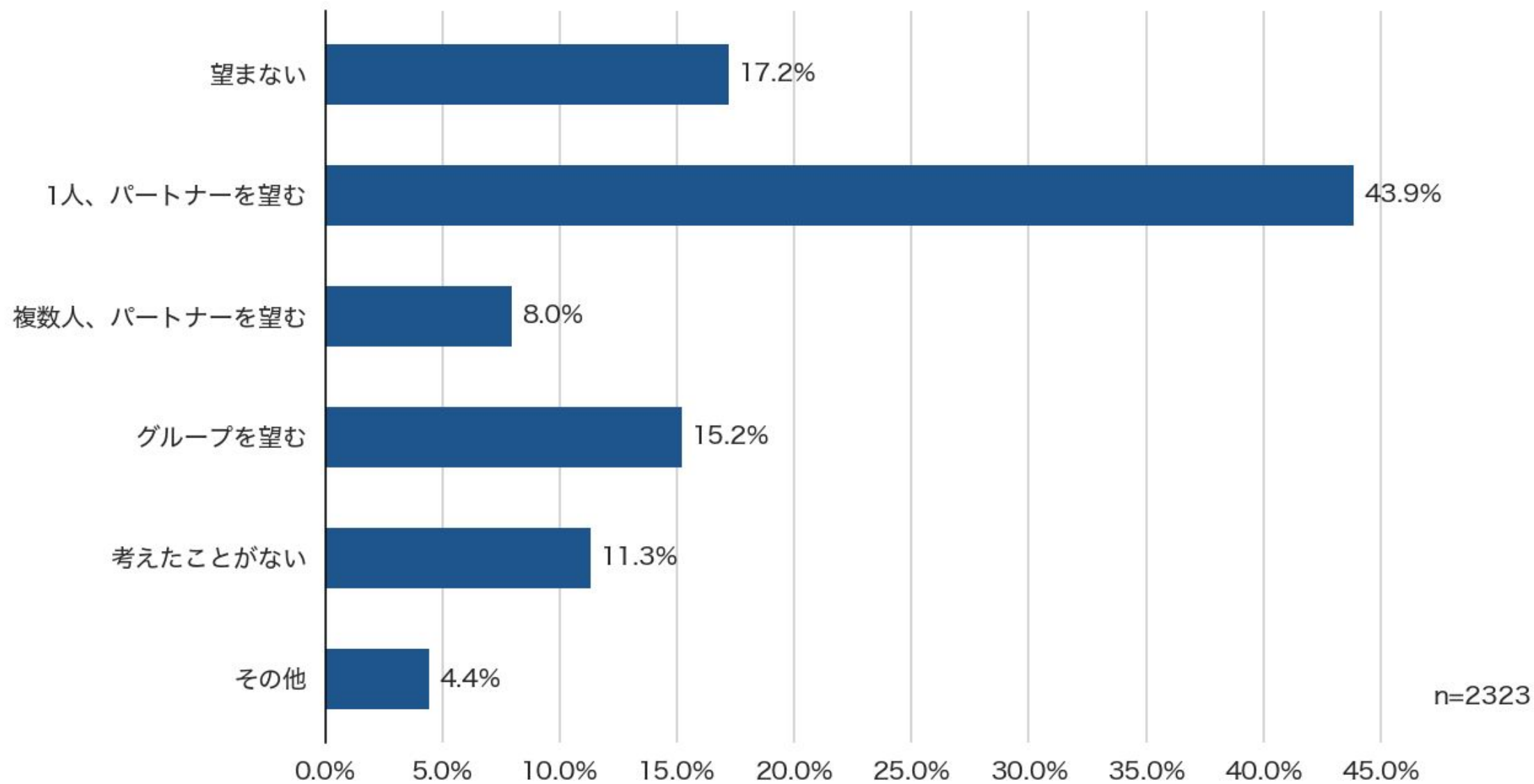


- * パートナー
= 特別な関係を約束した人
- グループ
= 互いを支え合うことを約束して
集まった集団

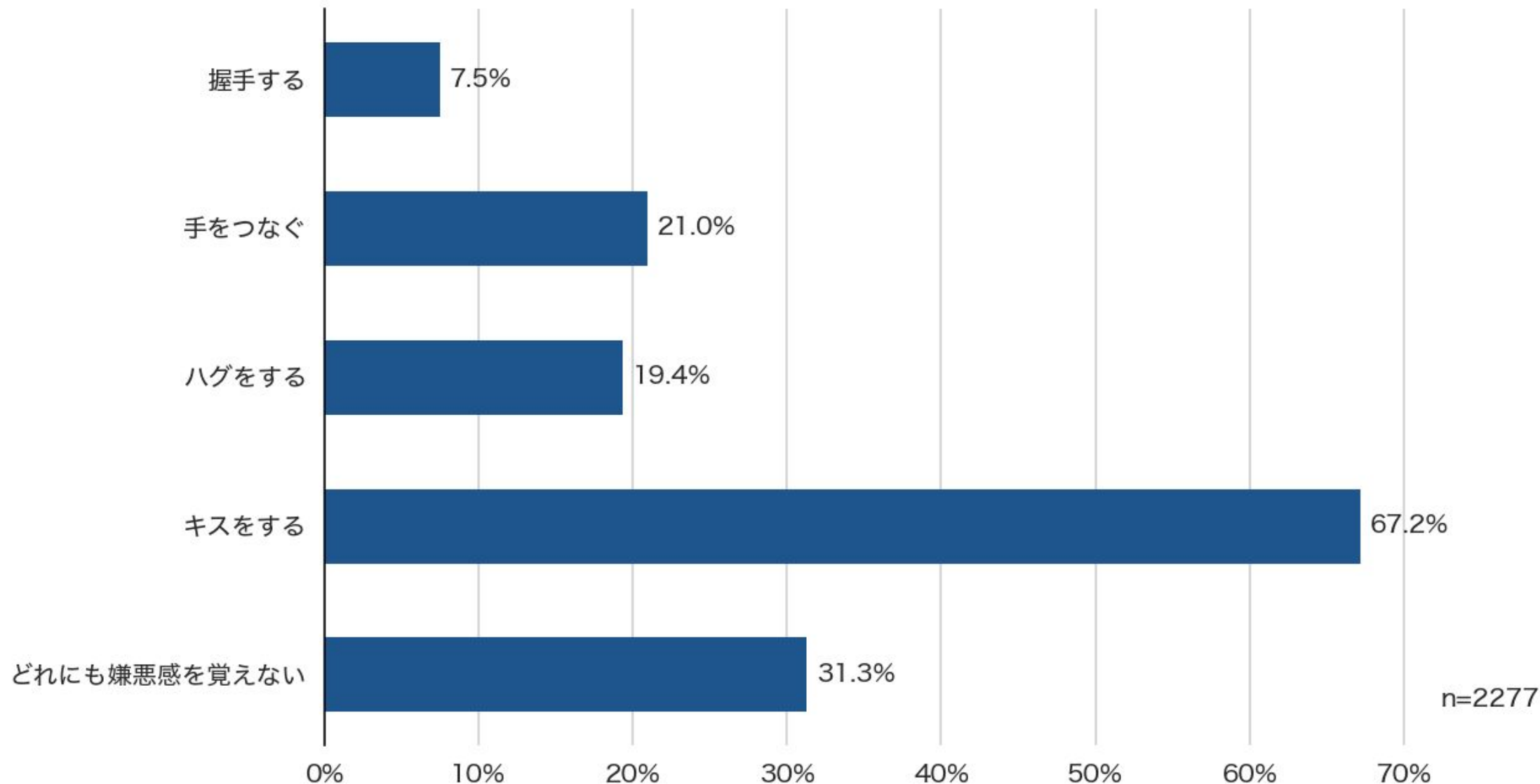
恋愛関係かつ性的関係のあるパートナー等を望むか



恋愛関係も性的関係もないパートナー等を望むか

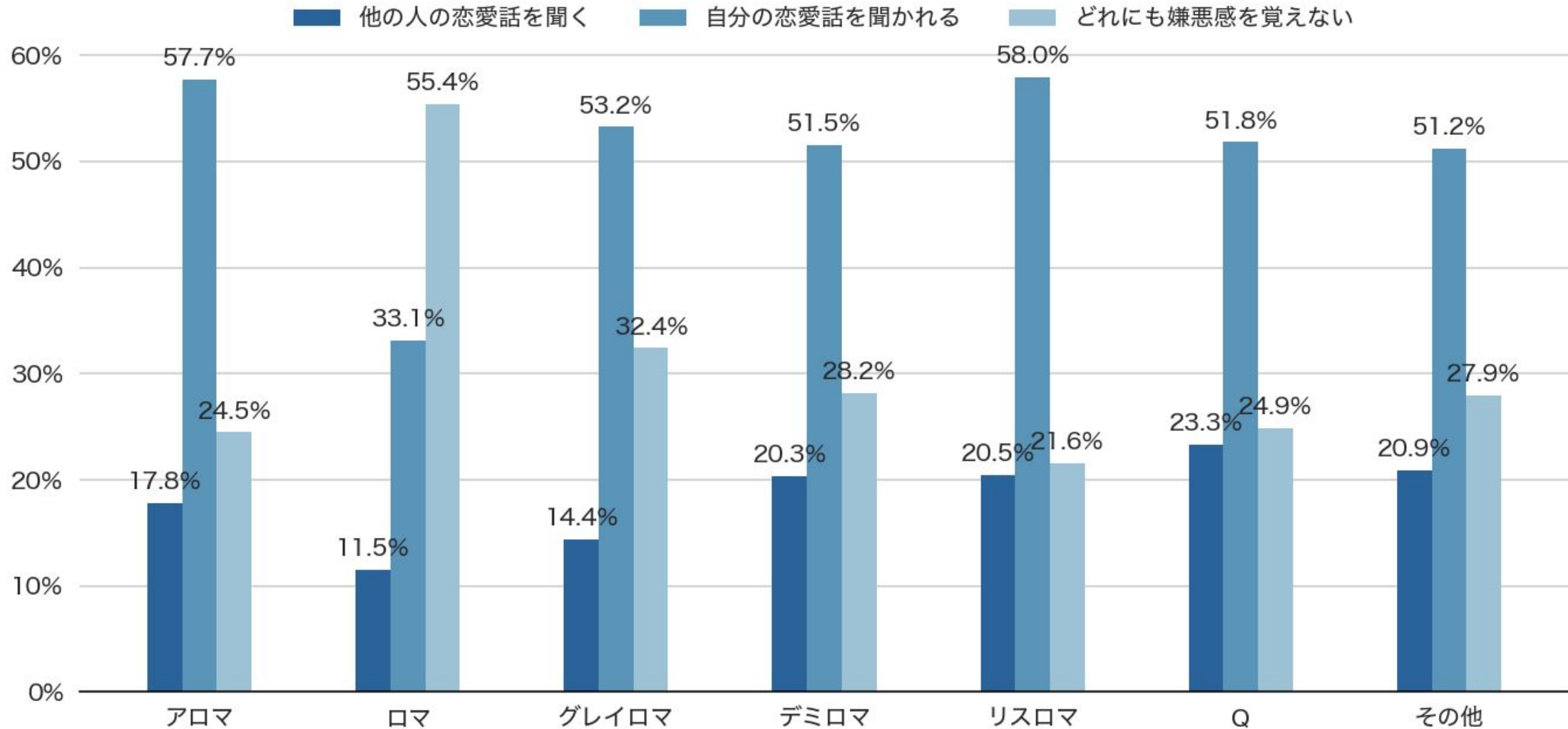


特定の行動に対する嫌悪感(複数回答)



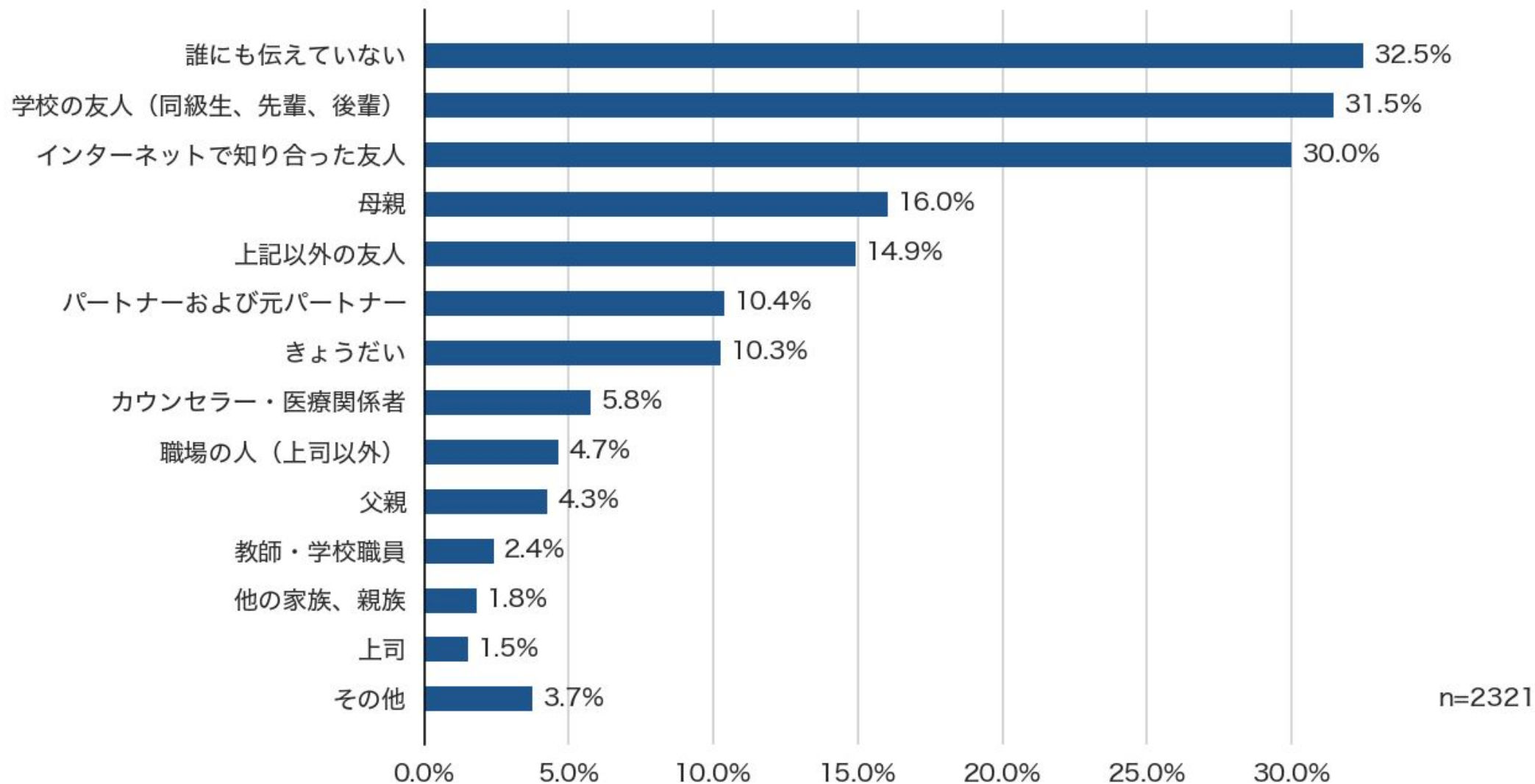
* 複数回答で「どれにも嫌悪感を覚えない」を選択していた場合、「どれにも嫌悪感を覚えない」を誤答として処理した(嫌悪感に関する質問は以下同様)

恋愛要素のあることに対する嫌悪感×恋愛的指向



* 質問紙には上記以外の選択肢もあり、「どれも嫌悪感を覚えない」はそれらを含め覚えないと回答したものである

自分がAro/Aceであることをカミングアウトした相手(複数回答)

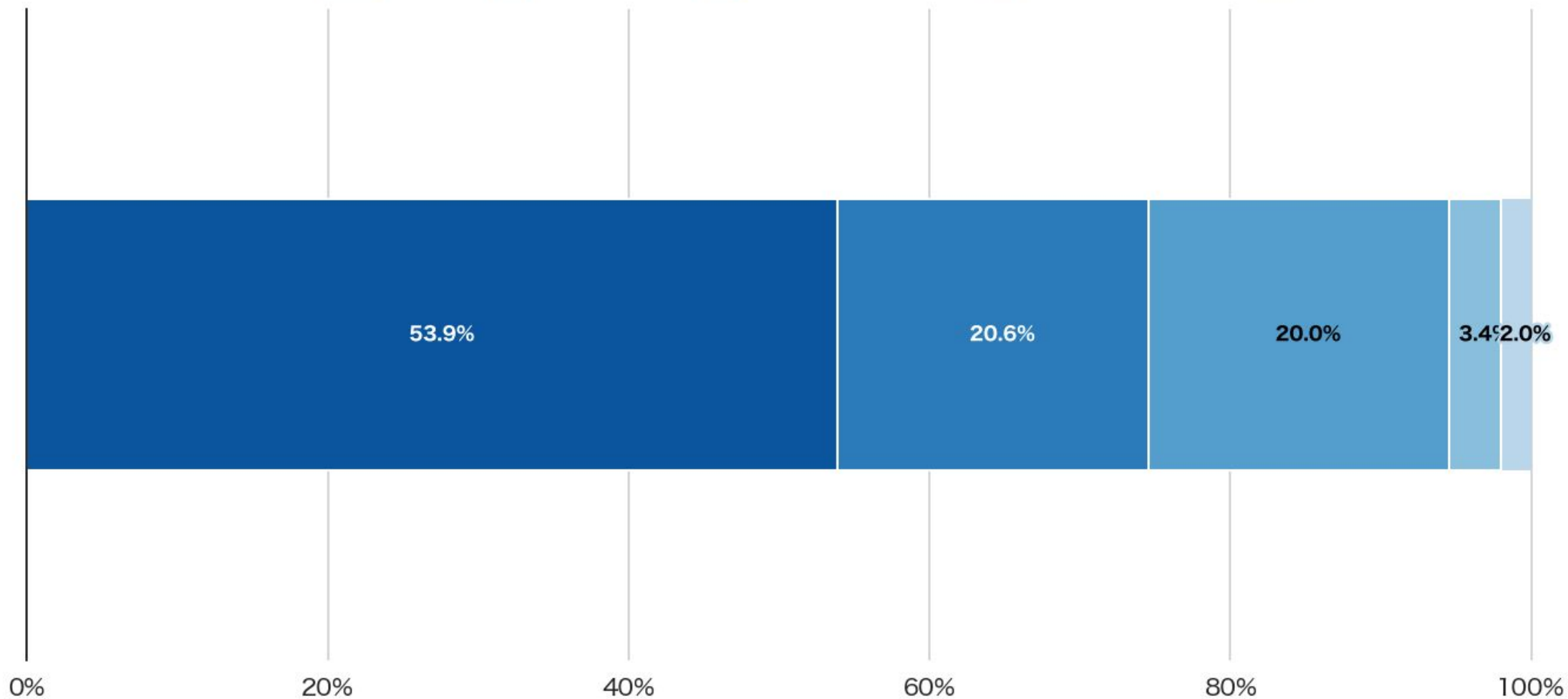


* 1 本調査におけるカミングアウトは「自分のセクシュアリティを他者に自ら打ち明けること」であり、単に恋愛や性的な事柄への無関心などを伝えることではなく、自分のあり方や自認について詳しく説明した経験と定義した

* 2 複数回答で「誰にも伝えていない」を選択していた場合、「誰にも伝えていない」を誤答として処理した

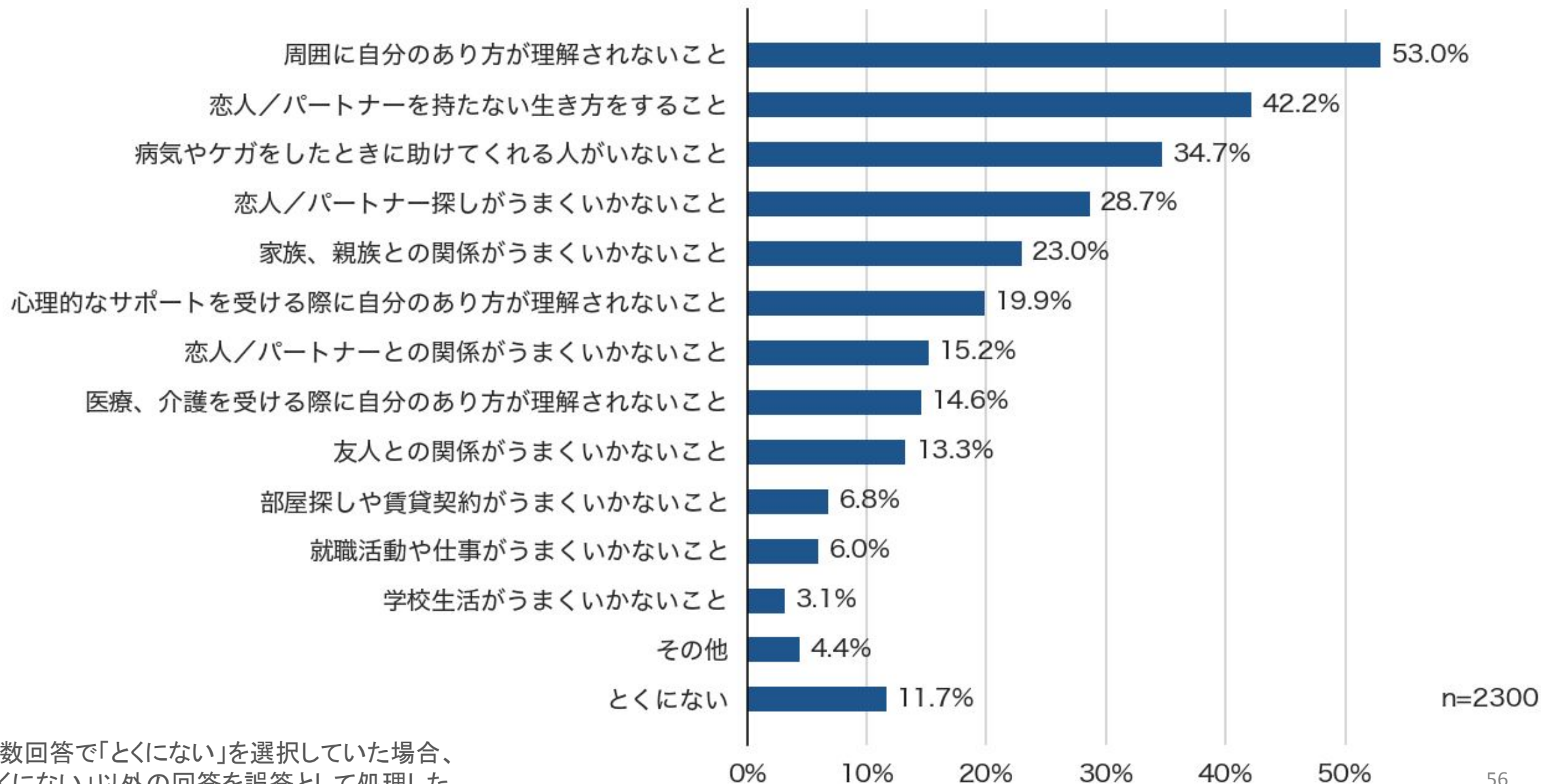
Aro/Aceに関する作品を望むか

■ 望む ■ やや望む ■ どちらでもない ■ あまり望まない ■ 望まない



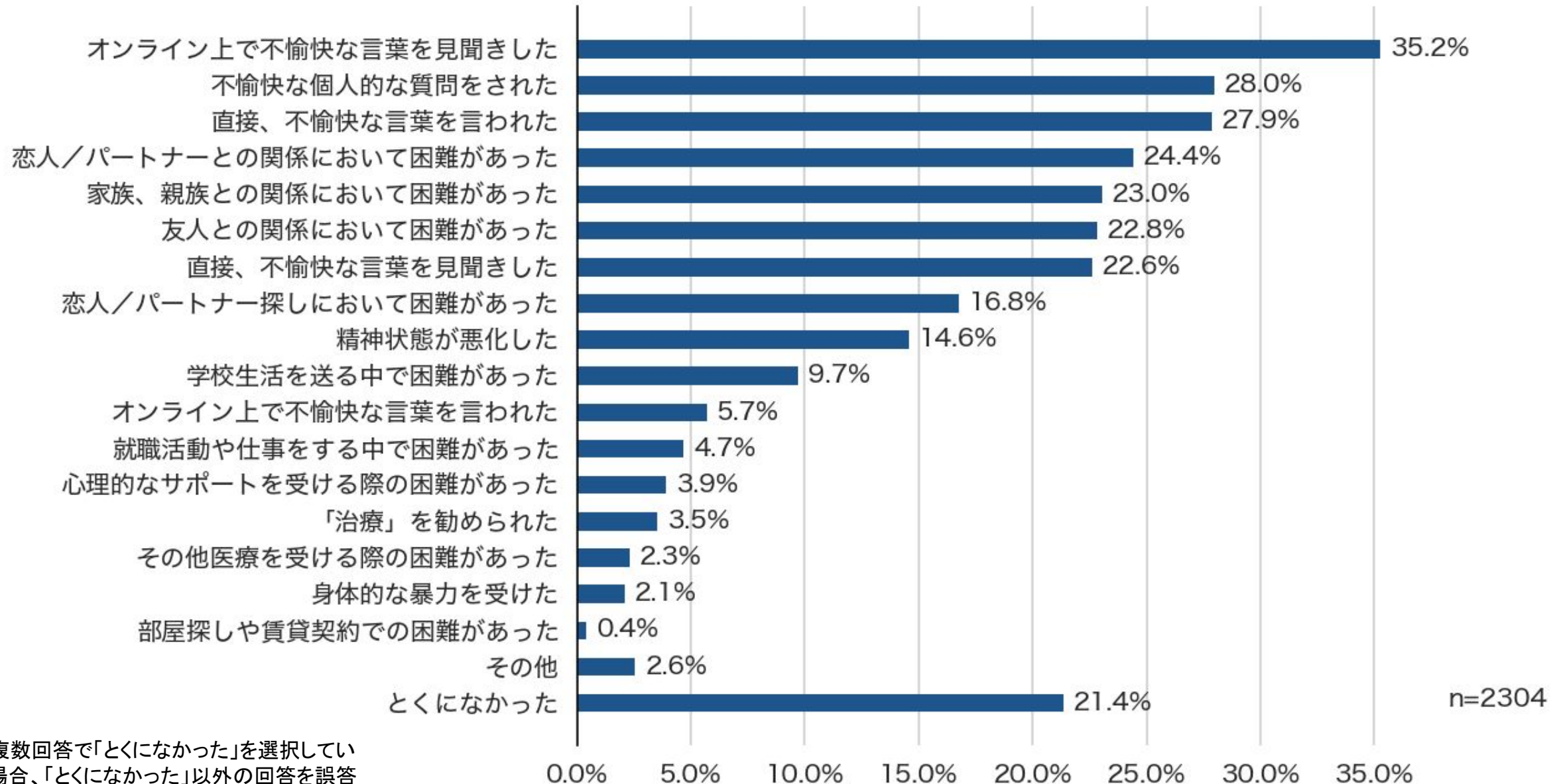
n=2326

Aro/Aceとして生きる中で不安を感じること(複数回答)



* 複数回答で「とくにない」を選択していた場合、「とくにない」以外の回答を誤答として処理した

Aro/Aceであることで経験したこと(複数回答)



* 複数回答で「とくになかった」を選択していた場合、「とくになかった」以外の回答を誤答として処理した

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【直接、不愉快な言葉を言われた】

- ・「まだいい人に出会ってないだけ」、「そんな事言っても絶対結婚するよ」と言われた
- ・「あなたは人間に興味ないもんね」と言われ、自認してから「恋愛・性的な惹かれがないからってどうしてそんな冷たい人間のように言われなくてはいけなかったのか」と思った
- ・誰にも恋愛的に惹かれないと答えたところ、病気だと笑われた

【直接、不愉快な言葉を見聞きした】

- ・学校で行っていたアンケートで「恋愛感情を抱く相手」というものがあり、「異性」「同性」「その他」があった。隣に座っていた知人が「こんなんみんな異性って書くじゃん。あっても同性だよ、その他って何(笑)」みたいに笑いながら言ってきた。

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【不愉快な個人的な質問をされた】

- ・親しい友人にカムアウトしたが「何かトラウマがあるんじゃないか」と言われた
- ・飲み会で「今まで彼氏がいないなんて嘘でしょう？」としつこく聞かれたとき
- ・「良い人いないの？」のような質問

【友人との関係において困難があった】

- ・恋バナに興味を持たないのでしんどい、話のネタを提供できない、場をしらけさせる
- ・友人と恋愛話をしていたときに「恋愛したことないよ」と話したら信じてもらえず、嘘つき呼ばわりされた

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【家族、親族との関係において困難があった】

- ・両親にカミングアウトしたら罵倒された
- ・パートナーと入籍しているのに、父親から子を産む事を期待されている

【恋人／パートナーとの関係において困難があった】

- ・恋愛関係と性的関係が常にセットで語られるため、性的関係のみ拒絶すると恋愛関係まで拒絶していると見なされ、あなたのそれは本当の好きじゃないと言われた
- ・セックスレスからの離婚問題になった
- ・相手から向けられる友人以上の気持ちを受けとめることができない
- ・恋人の望むことに応えることができない
- ・付き合っていた人がいたが恋愛感情がないのならこの関係は無意味だと言われた

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【オンライン上で不愉快な言葉を言われた】

- ・マッチングアプリで「エイセクシャル」と記載したのに、「○○なら可能ですか？」とアピールされて逆効果だった

【オンライン上で不愉快な言葉を見聞きした】

- ・アロマンティックの人へのインタビュー記事のコメント欄が「わざわざ言わなくていい」「みんなそんなもん」などというコメントで溢れていて傷ついた
- ・ネットでシスヘテロの人が「Aは生物としておかしい」「モテないのを言い訳してる負け惜しみ」などと書いているのを見かける

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【恋人／パートナー探しにおいて困難があった】

- ・付き合う前からノンセクと伝えるとノンセクとは付き合えないと言われたこと、掲示板の募集のNG事項としてノンセクが挙げられていること
- ・恋愛感情のないパートナーを探すのはハードルが高いなと感じている

【「治療」をすすめられた】

- ・恋人と別れるために、アセクシャルについて話したところ、病気と思われ「じゃあ精神科？とかで治療がんばってね」と返されすごくショックだった
- ・「恋愛にあまり興味が無い」とふわっとした主張をしたところ「そんなの有り得ない。病院に行けば？」と言われた

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【身体的な暴力を受けた】

- ・恋愛感情を告白されて断ると、相手が強引に交際に持ち込もうとしたり、性的な行為をしたいと言ったり、無理やりキスしようとしてきた
- ・当時のパートナーと別れるまで性行為を強要された

【精神状態が悪化した】

- ・大好きな友人が結婚すると決まった時に、恋愛感情や、結婚したいという感情、生殖や繁殖への欲求も全く理解できず、何もかもわからなくて毎日泣いていた

【学校生活を送る中で困難があった】

- ・保健の性教育の範囲で「人に恋愛的・性的に惹かれる」事が当たり前だという風に教科書に書いていたり言われたりして、とても苦痛で居心地が悪かった

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【就職活動や仕事をする中で困難があった】

- ・就活の際「あなたは今後結婚出産を考えていますか」という質問に対し「全くありません」と言ったところ「あなたは女性として怠けているね」と言われたこと
- ・職場でのキャリアを上司と相談する際に将来結婚するていで話しを進められる

【□理的なサポートを受ける際の困難があった】

- ・LGBT問題に理解があると謳うカウンセラーに「でも決めつけちゃダメだよね」とセクシュアリティの自認を否定された事
- ・心療内科で、鬱チェックのシートに「異性に性的に惹かれるか」という項目があり、Aceであることによって受けた心理的苦痛については話せない、と感じた

Aro/Aceであることで経験したこと(自由回答)

【その他医療を受ける際の困難があった】

・婦人科で「過去の性行為の有無」を聞かれ、一度も無いと回答したら、「その歳になるまで相手が居ないなんて普通じゃない」というようなことを言われた

【その他】

・異性と恋愛関係に発展させ、性行為をし、結婚するのが人生の必修科目なのだとしてメディアなどからしつかり刷り込まれてしまっていたので、誰とも付き合ったことがない自分は異常で欠落品だと数年前まで本気で思い込んでいた

まとめ



Aro/Ace調査2022概要報告でわかったこと

▼多くの設問で2020と同様の傾向が見られたこと

(例)

- ・シスジェンダー女性がもっとも多く、非シスジェンダーは3割以上である
- ・若い人が多い(29歳までで68.7%)ものの、年齢の幅が大きい(14歳－62歳)
- ・恋愛指向ではアロマンティックが一番多い(44.7%)
- ・性的指向ではアセクシュアルが一番多い(61.8%)
- ・“性欲”があると思うと答える割合が全体的に高い
- ・恋愛、性的関係のあるパートナーを望む割合と比べて、どちらの関係もないパートナーを望む割合が高い
- ・ドキドキを感じる割合と比べて、「付き合いたい」と思う割合が低い
- ・性欲があると思う割合と比べて、性行為をしようと思う割合が低い

Aro/Ace調査2022概要報告でわかったこと

▼約3~4割が自認をためらった経験がある

▼約7割がAro/Aceに関する作品を望んでいる

▼カミングアウトの経験は、「誰にも伝えていない」の割合がもっとも高い

▼Aro/Aceとして生きる中で不安を感じることは、

- ・周囲に自分のあり方を理解してもらえない
- ・恋人／パートナーを持たない生き方をすること

など、人間関係や生き方に関することの割合が高い傾向がある

▼Aro/Aceであることで経験することは、

- ・「不愉快な」な言葉を見聞きした、質問された、言われた
- ・恋人/パートナーとの関係、家族や親族の関係で困難があった

など、差別的な言動や親密な人間関係に関する項目の割合が高い傾向がある

今後の研究や活動に向けて

- シスジェンダー女性が多い傾向、非シスジェンダーの割合は普遍的なものか？
 - 全国規模の無作為抽出調査にAro/Aceに関する項目を入れる必要性
- Aro/Aceコミュニティを対象にすると、今後も若年層からの回答が多くなるか？
 - 調査を継続すると変わる可能性もある(他の調査法などから検討するのも重要)
- アロマンティックとアセクシュアル自認が多いことをどう解釈するか？
 - 社会的な要素が大きいのか否か今後の議論(そもそも一般化できるか不明)
ただ、最も多いアロマ×アセクでも33.7% = Aro/Aceコミュニティには多様性がある
- 自認をためらった経験をどう解釈するか？
 - 自認のプロセスに関する質的研究を充実させていく必要性
- 「ドキドキする」と「付き合いたい」の結果をどう解釈するか？
 - Aro/Aceにとって恋愛感情とは何か、そもそも恋愛とは何かを考える糸口に

今後の研究や活動に向けて

- ・「性欲」があると答えた割合が多かったのはなぜか？
 - Aro/Aceコミュニティでは性欲と性的惹かれは別のものである可能性
 - 一般にいわれる性欲や性的欲求などを問い直す契機に
- ・Aro/Aceに関する作品を望む割合が高かったことをどう解釈するか？
 - Aro/Aceが「表現」されることを様々な視点から考えていく必要がある
- ・嫌悪感に関する結果を理解する際に注意すべきことは？
 - 嫌悪感とAro/Aceを直接結びつけるのは要注意(嫌悪がない人もいる)
 - * そもそも嫌悪感の定義、どのように測定するか等の検討が必要
- ・不安なことやAro/Aceであることで経験したことをどう考えるか？
 - 多様性を認識しながら、社会問題として議論していく

お伝えしたいこと



みなさんにお伝えしたいこと

【知ってほしい点】

- ・恋愛的に／性的に惹かれない人もいること
- ・Aro/Aceも多様なこと(セクシュアリティの多様性、個人の多様性)
- ・恋愛話や性的な話は人類共通の話題ではないこと
- ・パートナー等を望む人もいれば望まない人もいること

【要注意フレーズ】

- ・「恋愛ができない」、「性行為ができない」
- ・「最近の若い人」
- ・「草食系」

みなさんにお伝えしたいこと

【これから充実させていく必要がある点】

- ・セクシュアル／パワーハラスメント防止の徹底
(恋愛／性的な話の強要はプライバシーの侵害やハラスメントになる)
- ・教育、医療、心理的援助、福祉に携る人の研修
- ・LGBT相談など専門窓口におけるAro/Aceの対応
- ・恋愛的でも性的でもないパートナー探しのサポート／サービス
(性的関係のない恋愛パートナー探しのニーズもあると思われる)
- ・Aro/Aceを描く際は多様性を考慮すること、当事者の意見を取り入れること

参考文献

・Aro/Ace調査実行委員会(2021)『アロマンティック/アセクシュアル・スペクトラム調査2020調査結果報告書』Retrieved October 10, 2022, from <https://asloop.jimdofree.com/aro-ace%E8%AA%BF%E6%9F%BB/%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E7%B5%90%E6%9E%9C/2020%E5%B9%B4%E5%BA%A6/>

・釜野さおり・石田仁・岩本健良・小山泰代・千年よしみ・平森大規・藤井ひろみ・布施香奈・山内昌和・吉仲崇(2019)『大阪市の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート報告書(単純集計結果)』JSPS科研費16H3709「性的指向と性自認の人口学—日本における研究基盤の構築」(研究代表者 釜野さおり)

・三宅大二郎・平森大規(2021)「日本におけるアロマンティック／アセクシュアル・スペクトラムの人口学的多様性——『Aro/Ace調査2020』の分析結果から」『人口問題研究』第77巻, 第2号, pp. 206-32.

・「令和2年国勢調査結果」(総務省統計局)

(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>)を加工して作成

お知らせ

今後も情報発信を行います！
引き続き応援をお願いいたします。

As Loop

Twitter



ホームページ

